



1 団体の状況	
団体名	株式会社シグマコミュニケーションズ
所在地	東京都港区芝 4-1-23 三田 NN ビル 3F
代表者名	代表取締役社長 村上 雅弘
設立年月日	昭和 61 年 4 月 1 日
資本金	1 億円
従業員数	586 名 (令和 3 年 4 月 1 日現在)
経営方針	  <p>私たちは、芸術・文化、放送の分野において、明るく豊かな社会へと私たちの技術・サービスが役立ち、皆様に求められ愛される企業であり続けるためにコミュニケーションのサポート役として、日々の業務に臨んでまいります。企業価値の最大化及び更なる「顧客満足」、「従業員満足」の実現によるゴーイングコンサーン企業の基盤強化を達成してまいります。</p> <p>そして、これからの時代に不可欠な存在として「サービスの価値」を高めながら、「コスト」の時代に求められる企業として、より豊かな社会づくりに貢献してまいります。</p>
事業目的	<p>当社は、下記の事業を営むことを目的と致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 劇場・ホール・催事場・会議場及び文化施設の管理運営 2. 放送・映像及び通信に関する設備の操作及び管理運営 3. 放送番組・ビデオ及び各種映像の企画制作 4. 放送・通信のメディアにおける情報コンテンツの企画制作 5. イベントの企画・制作・実施 <ul style="list-style-type: none"> イ 博覧会・見本市・展示会及び販売促進に関するイベントの企画制作実施 ロ 文化芸術、科学・技術、スポーツ・趣味及び環境・福祉等に関するイベントの企画・制作・実施 ハ 音楽・演劇・映画・芸能等の公演の企画制作実施 6. 舞台芸術の創造及び地域文化の振興に関する企画・開発・運営 7. 労働者派遣事業 8. 有料職業紹介事業 9. 放送機器・映像機器・電子通信機器及び舞台設備機器の設計・製造、設置工事及び保守管理並びに輸出入販売 10. 放送・映像・通信及びコンピュータのエンジニアリング並びにソフト制作に関する業務 11. 広告宣伝業務 12. 前各号に付帯する一切の業務
企業理念	<p>至る処において主体となり、企業が担う使命に応え、善き家庭をつくり、善き会社をつくり、善き社会をつくる。</p>
舞台管理におけるポリシー	<p>確かな技術とホスピタリティでホール・舞台管理をサポートいたします。</p> <p>私どもは、「全てのホール利用者に対して舞台運営管理技術に裏打ちされたサービスを提供する接客業である」との認識を基本にしております。そのため、従業員の採用・教育から日常の運営・業務まで一貫してホスピタリティを重要視し、顧客満足を生み出し、高めていくことを目標としております。利用者の立場に立ってホスピタリティの心を持ち、確かな技術とサービスを提供するための管理・教育体制を整え、実施しております。</p>

1 団体の状況	
主要取引先	経済産業省／特許庁／中小企業庁／金融庁／日本貿易振興機構／東京藝術大学／国立音楽大学／東京都／埼玉県／神奈川県／板橋区／横浜市／川崎市／所沢市／千葉市／船橋市／つくば市／公益財団法人埼玉県産業文化センター／公益財団法人所沢市文化振興事業団／公益財団法人江東区文化コミュニティ財団／公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団／公益財団法人 文京アカデミー／公益財団法人墨田区文化振興財団／公益財団法人大田区文化振興協会／日本放送協会（NHK）／株式会社NHKアート／株式会社NHKテクノロジーズ／株式会社NHKエンタープライズ／株式会社NHKプロモーション／NTT アドバンステクノロジー株式会社／ソフトバンク株式会社／株式会社フジテレビジョン／株式会社毎日放送／株式会社電通テック／株式会社博報堂／株式会社アサツー ディ・ケイ／株式会社読売新聞東京本社／大日本印刷株式会社
会社沿革	<p>1962年 (株) 東通設立 (東京放送 (TBS) ・制作技術部の外部制作会社として設立)</p> <p>1986年 (株) シグマ東通設立 (放送技術とイベント制作部門を東通より分離独立) 資本金 2,000 万円</p> <p>1992年 (株) シグマコミュニケーションズに社名変更</p> <p>2004年3月 (株) マイスターエンジニアリングと資本提携</p> <p>2004年6月 資本金1億円に増資</p> <p>2005年 産業分類「芸術施設の運営」において ISO9001 認証取得</p> <p>2009年 本社移転 (港区赤坂→品川区西五反田)</p> <p>2012年 プライバシーマーク (P-マーク) 取得</p> <p>2018年 本社移転 (品川区西五反田→港区芝)</p>
主要実績 (横浜市内)	<p>横浜市能楽堂久良岐能舞台 (指定管理者) 2006年～現在</p> <p>横浜能楽堂 (業務委託) 舞台照明管理、施設利用相談 1996年～現在</p> <p>神奈川県立音楽堂 (業務委託) ホール管理運営、施設利用案内 2009年～現在</p> <p>横浜市南公会堂 (指定管理者) 2010年～現在</p> <p>桐蔭学園シンフォニーホール (業務委託) ホール管理運営 2012年～現在</p> <p>慶應大学日吉キャンパス協生館 藤原洋記念ホール (業務委託) ホール管理運営 2012年～現在</p> <p>神奈川県立青少年センター (業務委託) ホール管理運営、設備保守点検 2005年～2018年</p> <p>横浜市港北公会堂 (指定管理) 2014年～2019年</p> <p>横浜市西公会堂 (業務委託) ホール管理運営、施設利用案内 2016年～現在</p>
現在の状況	運営管理施設 72 館 【内、指定管理:12 施設 運営委託:60 施設】

2 団体の実績

施設管理運営実績

弊社は34年間にわたり、舞台管理を中心として、音楽ホール、多目的ホール、劇場、そして能楽堂など、様々な施設の管理運営を行っており、現在は72館の施設管理運営を行っております。横浜市内の施設としては、久良岐能舞台をはじめとし、横浜市南公会堂の施設管理運営、横浜市西公会堂、横浜能楽堂、神奈川県立音楽堂の舞台管理を行っております。これらの施設とは、チーフ会議やブロック会議の場でお互いの施設の状況や各事例への対応方法等の情報交換を行っており、当施設の運営に活かしております。

久良岐能舞台指定管理者としての実績概要

弊社は、第1期から第3期の指定管理者として、15年間にわたり久良岐能舞台の管理運営を行ってまいりました。これまでの運営の中で一番の課題は、「施設を多くの方知ってもらおう」ということです。これまでの運営の中で以下の取り組みを行ってまいりました。

● 地域連携

①久良岐まつりの開催

地元の方でも「久良岐能舞台の存在を今まで知らなかった」という方は、残念ながら多くいらっしゃいました。市民の方にまずは認知していただき、足を運んでいただくことを目指して、自治会と協力し、久良岐能舞台の庭園でお祭りを開催するようになりました。おかげさまで、10年以上にわたり継続して実施することができており、今では恒例行事となって地域の方の生活の一部として認識していただき、多くの方にお越しいただいております。



②近隣施設との連携

年6回、磯子区館長連絡会に出席し、近隣施設との意見交換を行っております。施設運営を行う中で、近隣施設と足並みを揃えるのは大切です。「あそこ施設ではやっていたのに何故こちらではできないのだ」といった利用者の混乱をなくすためにも、他ホールとのすり合わせを行うようにしております。また、会議ではお互いに困っていることを話し、課題解決に向けて協力できることは積極的に協力をするようにしております。横浜市能楽堂とも、同じ横浜市の能楽堂として関係構築しております。地域行事としては、賀詞交換会や梅まつり、盆踊り等に参加しております。私たちも地域の一員として、積極的に地域行事に参加し、地域の方々と交流を図っております。その他、最寄り駅のJR磯子駅と磯子区とのパイプをつくり、地域の知名度向上のための取組にも積極的に協力してまいりました。



● 環境整備

①庭園の整備





自然に溶け込んだ施設ではありますが、庭園については日々の環境整備を行ってまいりました。能舞台という「敷居が高く、入りづらい」というイメージを持たれがちなので、まずは門をくぐった時から明るいイメージに変えたいと思い、第3期は庭園の整備に力を入れてまいりました。1t以上の白玉石を上池、和室前に敷き、縁台を製作して新しい庭園のイメージづくりを行いました。また、憩いのベンチを作成し、鳥箱風スピーカーを取り付け、音楽を聴きながら寛げる空間を創りました。これらの取組により、散策で訪れる方が足を止めてくれるようになり、能舞台を覗いていってくださる方も増えました。また、久良岐能舞台の新たな魅力の一つとなるよう、庭園の竹を活用して108本の竹灯籠を作成し、設置しました。暗くなるとライトアップされ、幻想的な世界をお楽しみいただくことができ、お客さまからも大変好評をいただいております。



2 団体の実績

②施設内の環境整備

当施設は、運営開始当初は部屋数も少なく、収納スペースが限られていたため、備品はそのまま部屋の隅に積みあがっておりました。しかし、それでは能舞台という空間、美しい景観を損ねてしまうため、鏡の間に棚を製作し、備品を整理しました。備品が整理されたことで、お部屋を広く活用していただくことができました。特に和室の縁側部分はスペースが開いたため、机と座椅子を置いて庭園を眺めながら寛げるスペースに改良しました。自主事業でもこの縁側で多くの方にお茶をお楽しみいただき、久良岐能舞台の美しい景観を見て寛いでいただいております。また、その他お客さまの利便性向上のため以下のような取組も行ってまいりました。

①各部屋にモニターシステム完備	演者の出ハケのタイミングが分かるよう、鏡の間・切戸口・和室・事務所に液晶モニターを設置	
②客席用椅子の改良	従来のパイプ椅子を廃止して、低座椅子・スタッキングチェア・自作木製ベンチ椅子に統一。客席の高低差を作り、どの席からも見やすいように工夫	
③音響・照明システム変更	能楽以外の催事にも対応できるよう、ワイヤレスマイク2系統、ミキサー、スピーカーを変更、照明もコントロールスイッチを使いやすい場所に移動し、舞台上の白熱球もLEDに変更	
④最新の通信環境の整備	最速のひかり回線に変更し、大容量の無線LANを設置。利用者のネット発信に活躍	

自主事業

①参加しやすい魅力的な事業の実施

私たちは、施設の知名度向上のために能楽のみならず、コンサートや講談など、様々な事業を実施してまいりました。新型コロナウイルスの影響で中止となった事業もありますが、平成28年度～令和2年度は伝統芸能に関する事業（講座を除く）を87回、その他事業を14回実施しました。「能楽」というと構えてしまい、能楽にあまり触れたことのない方々は集まりづらいのですが、まずは能舞台に足を運んでいただき、舞台に触れていただくことが伝統芸能に興味を持ってもらうきっかけになることを目指しております。実際に、コンサートでいらしたお客さまが能舞台に興味を持っていただき、狂言や能楽公演にお越しいただくこともありました。今後も、お客さまが気軽に足を運んでいただけるよう、廉価で魅力的な事業の発信に努めてまいります。

②伝統芸能愛好者の育成



伝統芸能愛好者は高齢化が著しく、減少傾向にあるため、新たに愛好者を育成するための取組として、平成23年度から「能楽講座（謡・仕舞）」、「囃子講座」、「日本舞踊基礎教室」を実施しております。講座修了後は、引き続き久良岐での講座を受講していただくか、講師の先生が独自で開いている講座に案内することで、活動を継続していただいております。また、小学生向けの体験講座や「4歳からの能楽」の講座開設等、次世代育成の取組も積極的に行ってまいりました。



3 指定管理業務実施にあたっての基本的な方針

第3期の方針と成果

■第3期（平成28年度～令和3年度）の方針

「伝統芸能の愛好者と鑑賞者の育成的機能を持った施設の実現」

第1期から続く上記方針のもと、これまで能楽等の講座の開設や利用者への支援に力を入れ、能楽愛好者の増加を図ってまいりました。その結果、以下の成果を上げることができました。

●第3期の成果

①各種講座の実施

3流派（喜多流・金春流・宝生流）の謡・仕舞講座、囃子講座、日本舞踊基礎講座など、伝統芸能普及のために様々な講座を実施しました。これらの講座は通年型事業として実施し、講座修了後も活動してもらえるよう、講師の先生の個人講座に紹介するか、引き続き「中級講座」という形で、当施設で稽古を続けていただいております。第3期においては、新たに謡・仕舞講座46名、日本舞踊講座24名、囃子講座に32名の新規受講生を獲得しました。

毎年、新規受講者の獲得には苦戦しておりますが、「伝統芸能を体験してみたい」「新しいことにチャレンジしてみたい」というお客さまの想いを無下にすることのないよう、少ない人数であっても、受講を希望する方が1人でもいれば、講座を開設するようにしております。



②利用団体への支援

久良岐能舞台ご利用団体の中でも、高齢化によりメンバーが減り、残念ながら解散となってしまった団体をいくつか見してきました。そのような現状を変えるべく、今後も活動が継続できるよう、利用団体のメンバー募集について、積極的に支援を行ってまいりました。活動に興味を持っている方を紹介したり、HPで団体情報を掲載する等の支援を行った結果、32名の方を各団体へご紹介しました。



③次世代に伝統芸能を継承するための取り組み

伝統芸能の愛好者は高齢の方が多く、若い世代の方はほんの一握りです。そこで、次世代を担う若者に能楽等の伝統芸能に興味を持ってもらうための取組として、インリーチ事業、アウトリーチ事業に取り組んでまいりました。インリーチ事業は、近隣の磯子区、南区、港南区の小学6年生を対象に、久良岐能舞台に招待し、教科書にも掲載されている狂言「柿山伏」をご覧いただき、その後、自分達でも舞台上がったり、実際に狂言の姿勢や発声等を体験していただくという事業になります。各区、1日3回公演を実施しておりますが、大変好評をいただいている事業となりますので、学校長会議にて参加校を調整していただき実施しております。毎年、1,000名以上の生徒に参加していただいております。アウトリーチ事業は横浜市芸術文化プラットフォーム事務局で実施している「アーティストが学校へ」に参加し、毎年5校のコーディネーターを務め、文化芸術に触れる機会の提供・伝統芸能の普及に努めてまいりました。



3 指定管理業務実施にあたっての基本的な方針

第4期指定管理期間の基本方針

“敷居は下げずに、跨ぎやすく”



久良岐能舞台は「能舞台」という性質から、能楽愛好者以外の方には馴染みがなく、入りづらいというイメージを持つ方が多くいらっしゃいます。「より多くの方に知っていただきたい。足を運んでほしい」という思いはありますが、やみくもに宣伝したり、施設にそぐわない事業を行ったりしても、当施設の魅力は伝わりません。久良岐能舞台、そして伝統芸能の魅力は、古来より続く厳かで神聖な空気という面もあります。その魅力を保ちつつ、多くの方に伝統芸能に興味を持っていただき、当施設にもお越しいただくことを目標とし、運営を行ってまいります。

また、横浜市には能楽堂が2つありますが、その役割はそれぞれ少し異なるものと考えております。「能楽等の伝統芸能の普及と振興を図る」という点は同じですが、鑑賞の場を提供するだけでなく、久良岐能舞台はさらに「市民の能楽等の活動支援を行う」ということも使命であると考えております。

久良岐能舞台のビジョン

上記方針のもと、久良岐能舞台は以下のビジョンを掲げてまいります。

- ①多くの市民が訪れ、落ち着いた品格がありながらも賑わいのある施設となること
- ②市民の憩いの場となり、様々な市民が来館し、交流する施設であること
- ③幅広い市民に伝統芸能を広めること
- ④能楽等の伝統芸能をはじめとし、様々な市民の文化芸術活動の場となる

ビジョンを達成するためには、まず知名度の向上を図り、久良岐能舞台に足を運んでいただくことが大切です。知名度向上のための取組として、気軽に足を運んでいただけるような環境整備を進めてまいります。

また、事業についても、能楽等を中心に行いますが、幅広い客層にアプローチするために、コンサートや講談など、伝統芸能以外にも様々な事業を行ってまいります。

2018年には、久良岐能舞台の名前を広めるため、「KURAKI」という音楽ユニットを結成し、コンサートを行いました。久良岐能舞台はもともと囃子方育成のために建てられた施設ですので、そのルーツに則り、パーカッションや横笛、歌のコンサートを行ったところ、これまで参加の少なかった20～30代のお客さまにも足を運んでいただくことができました。翌年2019年には久良岐能舞台の環境を活かし、「久良岐ナイト」という講談を行いました。この事業には、多くの近隣住民の方が親子連れで訪れ、大変にぎわう催事となりました。近隣の方でも、アンケート結果を見ると、初めて訪れたという方が多くいらっしゃいます。そういった方々にもお越しいただけるよう、能楽以外の事業も実施し、気軽に足を運んでいただく。そしてそれを繰り返すうちに久良岐能舞台の雰囲気慣れていただき、知らず知らずのうちに能楽に触れている…。

伝統芸能の普及のためには、そういった「さりげない入り口」があるのが大切なのではないかと考えております。



3 指定管理業務実施にあたっての基本的な方針

● ワクワクする施設に！



私たちの社員の多くが類似文化施設の「利用経験者」です。一利用者として施設を借用し、規制が厳しい施設で思うように活動できずにいた経験もあります。私たちの特徴である「類似施設の利用者視点」を運営に活かし、お客さまだったらどうして欲しいと思うかを常に意識した対応をご提供してまいります。

方針にある、「敷居は下げず」と言うのは“お高くとまる”訳ではなく、能楽への敬意も含めて、クリエイティブには妥協せず、できるだけ良いもの求める姿勢です。「またぎやすく」というのは能楽・古典芸能こだわらず門戸を広げ、歴史ある舞台への思いを理解していただければ誰でも利用していただけるよう、開かれた気持ちでお客さまをお迎えします。人間国宝級の方々から、一般市民の方々のお稽古にまで、広く芸を育みあう事のできる「憩いの場所」としてご利用いただける施設になることを目標としてまいります。

また、「ここに来れば面白い体験ができる」といった想いを持っていただけるよう、他ではあまりやっていない、久良岐能舞台の環境を活かした「蠟燭能」などの魅力的な事業を展開し、地域の方向けにおまつりや竹灯籠・庭園を活かした催事を実施することで、皆様に愛される施設づくりを進めてまいります。

● おもてなしの心でお迎え



サービスの基本は「お客さまに安心して楽しんでご利用いただくこと」そして「利用して良かった、また利用したい」と思ってください。職員は施設の印象となる「顔」であり、お客さまに与える印象は非常に大きなものとなります。形や行動などで示す「マナー」は、お客さまに不快感を与えないための最低限のルールであり、そこに「心」が加わると、ホスピタリティになります。深い心地良さが加わることで、お客さまへの信頼や信用、安心感が生まれます。私たちは、お客さまの立場に立ったホスピタリティの

心を大切にし、お客さまに寄り添った対応をすることで施設の印象を向上させるようなサービスの提供に努めてまいります。柔軟で温かみのある、活かした対応でお客さまを「おもてなし」してまいります。ただ施設を貸し出すだけでなく、何か困りごとはないか積極的にお客さまのご要望をお聞きして、課題解決と一緒に取り組むことで、快適な施設環境をご提供いたします。

● すべてはお客さまのために

私たちは施設の条例・規約に沿いながら、お客さまのご要望を汲み取り、マニュアル以上のご案内をできるような心がけております。例えば、「お客さま情報の蓄積」をし、リピーターのお客さまの利便性向上を目指します。これにより、お客さまの手続きの負担を軽減することが可能です。また、蓄積しているのは利用内容だけではありません。お客さま毎にいつも使用される施設、用途、利用手続きが遅れがち、来館が早め、など、書面では記録に残っていない情報も蓄積し、職員全員がお客さまの利用の傾向を把握するようにします。あらかじめ傾向を把握しておくことで、トラブルの予防やサービスの向上につなげてまいります。

● 公平・平等・公正な対応

公の施設であることを踏まえ、お客さまへは常に公平・平等な対応 + 「公正」な対応を行います。高齢者・障がいのある方や学生、さらに日本語が常用語ではない方等、人権にも配慮した対応を行い、どのような方にも安心して利用しやすい対応を行うとともに、利用申し込みの際には 記載をお手伝いしたり、筆談で対応する等、お客さまからご意見をいただきながら受付周りの環境づくりにも力を入れてまいります。これまでも、車椅子のお客さまの催事参加をサポートしたり、展示物や配布プログラムには英語表記もする等の取組みを行ってまいりました。多くのお客さまに平等にお楽しみいただける取組みを今後も続けてまいります。

3 指定管理業務実施にあたっての基本的な方針

● 個人情報保護の取組み

本業務ではお客さまの個人情報を扱うことが多く、その管理は徹底しなければなりません。お客さまの個人情報を取り扱う際には、プライバシーマークの基準に則った適切な管理を行ってまいります。

適切に個人情報を管理するには、社内において「個人情報保護方針」を明確にする事も大切ですが、第三者による認証や評価が必要であると判断し「消費者の目に見えるプライバシーマークを取得することによって、個人情報の取り扱いが適切であることを消費者にむけてアピールすること」「取得することにより、社員の個人情報保護に対する意識付けの道具として活用すること」等を目的に 2012 年 4 月、プライバシーマークを認証取得いたしました。

また、自身の振る舞いを見直す機会として、年に 2 回、全社において個人情報保護の研修を受講することを義務付けております。気を付けていても一度慣れてしまうと、管理がおろそかになってしまいがちです。そのようなことがないように、社員・パート職員問わず、全社員を対象とした研修を定期的に繰り返し実施しております。テキスト学習だけでなく、学習した内容をきちんと吸収できるよう、テストを実施しています。結果は本社に送られるので、結果に応じて本社からフィードバックを行います。学習し、身に着けるまでが研修だと考えています。



● PDCA サイクルを導入した運営

苦情やご要望、ご意見などに対する一次対応においては、真摯に耳を傾け、相手が真に伝えたいことを汲み取ることに努めます。いただいたご意見は職員全員で共有し、より良いサービスをご提供していくためにどのように改善すべきかについて考え、回答を出し（P）、運営に反映（D）させます。そしてその対応がお客さまの求める回答であったか否かを新たに検証し（C）、運営体制をアップデート（A）します。様々なご意見には迅速に対応・回答することが必要です。お待たせすればするほど、お客さまの不快感は強くなります。私たちもご意見をいただいてから時間を経過する度に“お客さまの思いの温度”を感じなくなってしまうます。常に初心にもどる事を意識しなければ、運営や業務に“馴れ”てしまいます。私たちはこのPDCA運営で、馴れから脱却し、常に初心にもどる運営を推奨し、スパイラルに運営を更新してまいります。また、弊社ではホール管理部門において、ISO9001 を認証取得しておりますので、その業務フローを運営に活かし、誰が対応しても同様の品質で迅速に対応できる体制を整えております。



● 稼働率目標

令和 2 年度の久良岐能舞台の全体稼働率は、25.6%となっております。今後も新型コロナウイルスの影響が続くことを踏まえ、新型コロナウイルスによる影響で下がってしまった利用率を戻し、さらに新規利用者増加を図るため、第 4 期においては 5 年間で稼働率約 10%アップを目指します。

全体稼働率：25.6%  令和 9 年：36%

現在、能舞台午前の利用率が低いため、能舞台の午前中の枠の稼働率を増加させるため、利用の割引制度や無料開放を行なうことを検討しております。また、茶室の利用率も低いため、お茶以外のご利用も柔軟に対応する他、お茶会等のご利用を促進させるため、備品（茶器等）をさらに充実させることや、久良岐能舞台でお茶の提供を行なうことを検討しております。

4 応募理由

久良岐能舞台の魅力を発信したい

私たちは第1期から久良岐能舞台の指定管理者に選定いただき、これまで15年にわたり、管理運営を行ってまいりました。庭園を含み、能舞台には素晴らしい魅力があり、これを眠らせることなく地域住民に愛される施設となるよう、これまでも様々な取組みを行ってまいりました。これまで積み上げてきたものをより磨きをかけて向上し、今後の運営に活かしていくためにも、引き続き第4期の指定管理業務を行いたく、応募をすることといたしました。

● 事業の継続

伝統芸能は、これまで触れたことのない市民にとっては進んで入りにくい世界だということが、これまでの運営を通じて学んできました。知名度の向上、愛好者の増加、自主事業への参加者の増加、どれもなかなか思うようにはいかず、四苦八苦してきました。このような状況の中では、一つひとつの仕事を根気強く続け、反応が見えたら即座に対応してまた新たに一步進むということを繰り返すことが大切です。

「団体の実績」でも記載しておりますが、知名度向上を図るため、まずは土台作りを行おうと環境整備を行ってまいりましたが、これにより散策の方が足を止めて庭園に留まったり、能舞台を見学したりしてくれるようになりました。このような取組みを積み上げることで、徐々に知名度の向上、施設のファンを増やすことに繋がってきております。今後も小さな積み重ねを行い、施設のファンを増やし、さらに賑わう施設となるよう努めてまいります。



● 育成講座の継続



私たちは、伝統芸能普及のために「謡・仕舞講座」、「囃子講座」、「4歳からの能楽」、「日本舞踊基礎教室」と各種講座を開設しております。現在は、約40名の方が講座を受講し、能楽等習得のために稽古に励んでいただいております。数年にわたり受講していただいている方々の文化芸術活動を少しでも継続し、今後も伝統芸能に興味を持って、チャレンジしたいという想いを抱いている方々を支援できるよう、講座を継続して実施してまいります。

● 利用者を含めた施設の特性を熟知

久良岐能舞台は能楽等の伝統芸能に特化した専門施設ではありますが、舞台は囃子方養成のための稽古舞台として建てられたため、他の能楽堂と比べ、小ぶりの舞台です。そのため、仕舞などでは舞が小さくなってしまったり、歩数が足りないなどの問題があります。リピーターのお客さまはこの特徴をよくご存知ですが、新規に利用されるお客さまには説明が必要となります。事業においても、席の配置等に気を配らなければなりません。これまでのお客さまのご意見を踏まえ、どの席でも舞台がきちんと見えるよう、調整を行ってまいりました。また、秋頃は屋根の雨樋に落ち葉が詰まると雨漏りをしてしまうので、早めに業者を手配したり、台風の後には折れた枝があったり、木が倒壊しそうになっている場合があるので、必ず見回りを行うなど、施設の特性を理解しているからこそ、迅速に対応できることが多々あります。

また、当施設にはリピーターのお客さまが多くいらっしゃいますが、職員はお客さまのお名前を覚え、利用の傾向も把握しております。これにより、受付の際には手続きの負担を軽減することに繋がり、ご利用当日も備品のセッティングのお手伝いをしております。お客さまからも「久良岐能舞台の職員さん」ではなく、「久良岐能舞台の〇〇さん」と親しみをもって接していただいております。能楽師の方々にも事業や運営についてご相談させていただき、人間関係を築いております。

今後もお客さまに安全・安心してご利用いただけるよう、これまでの運営を通して積み上げた経験や人間関係を運営に活かしてまいります。

4 応募理由

● 私たち自身も久良岐能舞台のファン



久良岐能舞台の職員は地元住民が多く、長年にわたり運営に携わっております。これまで「久良岐能舞台を良くしていきたい」「もっと久良岐能舞台の魅力を多くの人に知っていただきたい」という思いから様々な取り組みを行ってまいりました。そのような取り組みの中で、私たち自身も施設に愛着を持って運営を行ってまいりました。そのため、退職した職員も弊社で開設している能楽講座を受講したり、サポートスタッフとして現在も久良岐能舞台に関わっていただいております、それが生きがいにも繋がっているという話を聞きました。

● 地域との繋がりを活かす

私たちは第1期の業務開始から久良岐能舞台の地元、磯子区岡村の連合町内会ご協力のもと、地域の財産である久良岐能舞台を地域の文化振興に役立てるように「久良岐まつり」を開催し、10年以上にわたり継続して実施してまいりました。この間、地域住民の皆様や施設利用者様とお互いに話し、信頼関係を構築してまいりました。

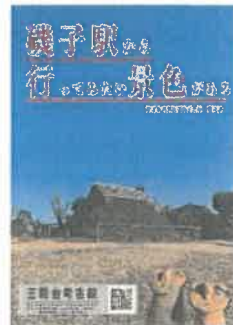
磯子区の館長連絡会では近隣施設と情報交換を行い、困っていることはお互いに協力してきました。磯子公会堂には狂言師を紹介し一緒に舞台をつくり、杉田劇場には能楽師を紹介し能の普及活動を行いました。逆に、杉田劇場からは活動の場を探しているという雅楽の演者の相談を受け、久良岐能舞台で庭園・舞台を使つての共催公演を実施しました。久良岐能舞台の開演・終演アナウンスは美声の杉田劇場の館長にお願いして録っていただくなど、協力関係を築き、近隣施設とも関係性を構築してまいりました。

また、JR磯子駅では磯子区施設（久良岐能舞台）のポスターをJR根岸線の各駅に掲示して頂き、その縁でJR磯子駅のご担当者から、「JR磯子駅コト作り」…地域と一緒に何かできることを探しているという話を伺いました。そこで、地域施設の一員として、久良岐能舞台でも協力したいと思い、私たちがJR磯子駅と磯子区役所をつなぐ役目を担い、話し合いの場を設けることができました。それを実行、継ぐためにもポスター掲示第2弾として、近隣施設に当施設の職員が出向き、施設の撮影をさせていただき、ポスター編集し実際にJR根岸線の各駅に掲示するご協力を致しました。

このように、これまで地域の方々と関係を構築し、その輪を広げて行っております。それらの関係を今後の運営にも活かしてまいります。また、私たちが10年以上かけて築いたその関係を継続していくことは、久良岐能舞台を運営する指定管理者の責務でもありと考えております。

● 幅広い利用目的に応えたい

能楽堂という施設は、能楽のための必要機能を持った施設であるため利用上の制約があり、他の一般的な舞台を持った文化施設に比べ、利用の制限が厳しいという特徴があります。久良岐能舞台の多くの利用者は能舞台ゆえのご利用ですが、最近では婚礼写真の前撮りや、プロモーションビデオの撮影等、能舞台の雰囲気を利用目的にされる、従来とは異なる利用方法が増えてまいりました。私たちは、こうしたご利用も施設の周知に役立ち、能舞台に触れ、その作法を学ぶことで、能楽の振興に役立つのではないかと考え、ルールを設けたうえで引き受けしております。久良岐能舞台を、より多くの方に開かれた施設とすることで、知名度向上を図り、能楽等の伝統芸能の館として市民の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。



5 運営組織の構造、開館時間の勤務シフト、休館日設定の考え方

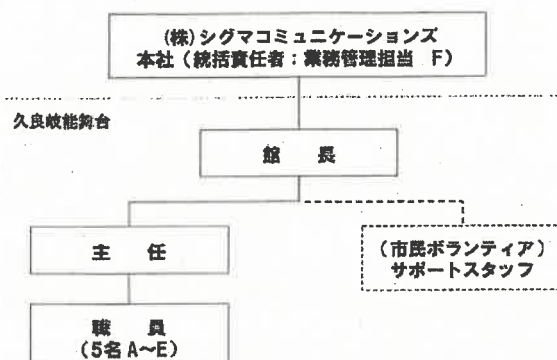
運営組織の構造

現場運営に最適な組織構造とし、基本的に全ての業務を現場で管理いたしますが、最終的な意思決定は本社統括責任者にて実施します。また、大規模な事業や特別な支援が必要な場合は本社各部門から支援を行います。弊社は舞台管理の会社であるため、舞台技術者が多く在籍しております。そのため、これまでも当施設での事業に本格的な音響や照明演出を取り入れております。今後も、より魅力的な事業を行うため、技術スタッフのサポートも入れながら運営を行ってまいります。

また、急病や忌引き等、突発的に休みを取らなければならない職員がいる場合も、基本的にはシフトで

調整しますが、バックアップが必要な場合は、業務管理担当や、近隣で指定管理運営を行っている南公会堂等から、バックアップをし、何かが起こってもサポートできる体制を整えております。

その他、市民ボランティアである「サポートスタッフ」を引き続き採用し、事業運営、庭園清掃の2分野で市民協働による運営を推進してまいります。



職員の配置

久良岐能舞台に配置する職員は以下のとおりです。

職名・職位	雇用関係	人数	必要な職能・職務内容等
館長	正規雇用	1名	能楽等の伝統芸能の世界と業務上で関係を築く。現場管理責任者。
主任	正規雇用	1名	能舞台運営に精通している。運営業務責任者。
職員 A・B・C	正規雇用	3名	施設管理・広報業務・事業運営担当者。
職員 D・E	臨時雇用	2名	施設管理・事業運営担当者。
職員 F	正規雇用	1名	本社統括責任者。業務管理担当者。(非常勤)

サポートスタッフによる市民協働運営

市民協働の運営を推進するため、ボランティアによるサポートスタッフに当施設運営のサポートをしてもらっております。弊社との雇用関係はありませんが、安心して活動していただけるよう、横浜市社会福祉協議会へのボランティア登録により、全てのスタッフにボランティア保険を付与しています。

10年以上、メンバーが変わらず活動しておりましたので、令和元年にメンバーの見直し・再募集を行い、現在は10名の方が登録し、活動していただいております。サポートしていただく内容は、以下のとおりです。今後も、市民と協働しながら、より良い施設づくりに努めてまいります。

活動内容	
自主事業サポート	会場設営・お客さま誘導・整理
広報サポート	DM 発送・翻訳・他 ボランティア通信により業務を告知。
庭園管理	日常的庭園清掃業務

5 運営組織の構造、開館時間の勤務シフト、休館日設定の考え方

勤務シフト例

日	曜	館長	主任	A	B	C	D	E	午前	午後	夜間	利用内容例
1	月											ミーティング
2	火	休		休			休			○		写真撮影
3	水		休		休	休		休		○	○	日本舞踊基礎講座・日本舞踊
4	木			休				休		○		喜多流講座
5	金	休					休				○	金春流講座
6	土				休	休		休		○	○	囃子講座
7	日		休					休		○		利用抽選会 ※毎月第一日曜日
8	月								○	○	○	自主事業イベント
9	火			休			休				○	囃子教室
10	水	休			休			休		○	○	日本舞踊基礎講座・日本舞踊
11	木		休			休	休					*DM 発送作業
12	金			休		休				○		写真撮影会
13	土			休	休			休	○	○		俳句会
14	日	休			休		休		○	○		写真撮影・能楽稽古
15	月		休			休	休	休	×	×	×	休館日 設備保守点検
16	火						休	休			○	日本舞踊
17	水			休				休			○	能楽稽古
18	木	休					休			○	○	茶会・喜多流講座・宝生流講座
19	金		休		休	休					○	金春流講座
20	土						休		○	○	○	囃子講座
21	日	休		休			休					
22	月		休					休	○		○	写真撮影
23	火				休			休		○	○	日本舞踊基礎講座・日本舞踊
24	水					休		休		○		写真撮影
25	木	休		休			休			○	○	喜多流講座・宝生流講座
26	金		休			休				○	○	金春流講座
27	土				休			休	○	○		能楽稽古
28	日	休					休	休	○	○		動画撮影
29	月	休			休	休	休					
30	火		休	休						○	○	宝生流教室・日本舞踊
31	水		休					休		○	○	写真撮影

開館時間については、基本的には9時から22時ですが、夜間利用が入っていない場合は、利用の申込みや来館者も来ないため、17時で閉館いたします。また、久良岐公園に続く山門については、暗くなると足元が見えづらく、危険となるため16時30分で閉門するようしております。

5 運営組織の構造、開館時間の勤務シフト、休館日設定の考え方

休館日設定の考え方

年末年始の期間、12月29日から翌年1月3日以外は原則として開館日としますが、施設の保守点検及び庭園管理、消防訓練等の目的で毎月第3月曜日を臨時休館日として設定することを考えております。ただし、第3月曜日が祝祭日、国民の休日の場合は翌日等に設定します。

休館日は前年度中に設定し、貴市の許可を受けた後、当該年度の休館日として久良岐能舞台のホームページ及び施設の掲示板等に掲示して周知いたします。

◆令和4年度の休館日の案

年月日	休館日業務の内容
令和4年4月18日(月)	施設・設備点検
令和4年5月16日(月)	障子張替等
令和4年6月20日(月)	施設・設備点検
令和4年7月19日(火)	消防訓練・庭園除草等
令和4年8月15日(月)	庭園除草・刈込み等
令和4年9月20日(火)	能装束手入(防虫剤取替)
令和4年10月17日(月)	池・水路堆積土砂浚渫・設備点検
令和4年11月21日(月)	施設点検
令和4年12月19日(月)	落葉撤去等
令和4年12月29日(木)から 令和5年1月3日(火)	年末年始休館
令和5年1月16日(月)	施設点検・消防訓練等
令和5年2月20日(月)	庭園手入れ
令和5年3月20日(月)	施設・設備点検、庭園外灯点検

上記の予定にかかわらず、臨時的に発生する保守点検や故障対応などのために、別に臨時の休館とする場合や、予定日の変更を行う場合があります。変更発生の場合は文化振興課に許可を求めた上で、周知に十分な期間が得られない場合は、施設のホームページでの告知のみとする場合があります。その場合でもできる限り利用者の妨げとならないように注意を払います。



6 必要人材の配置と職能、主要人材の能力担保

私たちは、これまでの運営の中で、当業務に必要なスキルを身につけ、多くのお客さまとの交流を通じて知識や感性を磨き、運営を行って来ました。久良岐能舞台の運営は、能楽等の専門施設の運営者として必要な知識や技能の習得、そしてホスピタリティを持ってお客さまと接することが大切だと認識しております。第4期においても、これまで身につけた運営能力を、職員一人ひとりが確実に実行できるようにいたします。

必要人材の配置と職能

職員が担う機能、職能と人材は以下のとおりです。

職名等	人数	担う機能・役割	人材能力
館長(常勤)	1	機能:施設の顔としての対外的機能 職能:事業計画、施設運営、自主事業全般で職員の指導を行う。現場管理責任者。	能楽等の伝統芸能の世界と業務上で関係を築く。
主任(常勤)	1	機能:運営業務における現場責任者 職能:施設管理、利用者対応、広報等の運営における責任者。 職員シフト管理者。	柔軟な人間性。施設管理、利用者対応に明るく、運営知識豊富な人材。
職員 A・B・C(常勤) 職員 D・E(非常勤)	5	機能:管理運営における各部担当者 職能:施設管理、利用者対応、チケット販売、自主事業実施対応、広報業務、ボランティアスタッフ管理。	窓口業務の担当者として利用者対応ができる。ボランティアスタッフと信頼関係を築ける。
職員 F(非常勤) (本社統括責任者)	1	機能:指定管理者業務統括責任者 職能:事業企画、運営、指定管理者としての業務担当。	当社指定管理業務担当者から選任。

● 人材配置の特徴

久良岐能舞台の運営の特長は、施設運営にとどまらず、広い庭園の管理に多くの力が必要なところにあります。施設のビジョンや使命の実現、伝統芸能の専門施設として必要な知見のみならず、庭園についても知識を持って注意深く管理に当たるためには、職員全員が職務の遂行に責任感と誇りを持ち、向上心をもってこそ成し遂げられることだと理解しています。このような施設運営の特質を毎日実現してゆ�ため、以下の方法を行っています。

①各種研修の実施

弊社では、「人財こそ最大の財産」という考えのもと、様々な研修を実施しております。

接遇・マナー研修	お客さまに気持ちよくご利用いただくためにホスピタリティを磨きます。
個人情報保護研修	Pマークの基準に則った情報管理を行えるよう、年一回以上実施しております。
人権研修	公共施設として、公平な対応ができるよう研修を行います。
AED研修	すべての職員に普通救命講習を実施します。
消防訓練	磯子消防署ご協力のもと、消防訓練を実施します。
能楽等研修	能楽に関する理解を深めるため、能楽鑑賞等の研修を行います。



6 必要人材の配置と職能、主要人材の能力担保

②各専門家からのアドバイス

久良岐能舞台では様々な講座を実施しており、その講師をお願いしている能楽師や日本舞踊家、また近隣にお住まいの能面作家の方々に運営や事業について、アドバイスをいただいております。伝統芸能に携わる方々は、皆さん愛好者の減少に頭を悩ませており、伝統芸能普及のために尽力されています。久良岐能舞台の運営についても、親身になってくださり、ご相談に乗っていただいております。今後もこの関係を活かし、専門家の方々のご意見・アドバイスをいただきながら運営を行ってまいります。



● 主要人材の能力

● 館長の能力



館長には職員全員の勤怠管理・教育指導という対内的な「顔」、貴市との連絡調整やお客さま、出演者への対応等の対外的な「顔」が求められます。当業務は1人では成り立ちません。お客さまの利用を支え、様々な事業を行うためには“チームワーク”が必要であり、館長にはチームを1つにまとめ、指揮する能力が求められます。職員一人一人に気を配り、当施設の方向性を示しながらチームの雰囲気を作り上げる「カリスマ性」も必要です。「ひとづくり」は当業務においても大切なことであり、「ひと」から成り立つ「チーム」の雰囲気がお客さまに与える施設の印象を左右します。市民の皆様にも愛される施設となるよう、自分たちのチームを時には客観的に見ることができると考えております。また、利用者や地域との交流・連携、能楽やその他の伝統芸能の世界との連携、利用者拡大のための活動、新聞・雑誌・放送等のメディアへの対応等の多様な業務が遂行できる能力が必要となります。

館長配置予定者はこれまで様々な事業企画・運営の実績を持っており、業界関係の繋がりを広く持っております。その関係を活かし、これまでも能楽と現代音楽等の他の分野とのコラボレーション事業など、斬新な事業も展開してまいりました。豊富なプロデューサー経験を活かし、魅力ある事業を当施設でも展開してまいります。また、親しみやすく人を惹きつける人柄から、利用者や近隣施設の館長から様々なお話を引き出すことができ、伺ったお話から事業の協力や運営面での改善につなげていっております。

● 主任の能力



主任は、館長の補佐を行い、日々の施設運営業務を統括し、職員の業務シフトを管理します。地域や利用者等との交流・連携の中核を担う他、利用料金収入や物品販売上等の管理、各種業者の手配や運営状況の記録等を行います。業務全体を見渡し、館長とは違う目線で業務を見ることで、館長の手が回らない部分をサポートするなど、館長の業務を主任が補完し、主任にはできないことを館長が行うといった、両者の足りない部分を補完し合える呼吸のあった関係性であることが、チームがうまく機能するポイントです。また、職員でのミーティングや貴市ご担当者様との月次の運営会議を主催します。また、市民ボランティアである“サポートスタッフ”の管理も行っております。

主任配置予定者は、久良岐能舞台の運営に9年携わっており、施設のことを知り尽くしております。そのため、施設や備品の異常にすぐ気づくことができ、早期修繕を行なうことができ、台風接近時等は、事前に施設・庭園に被害が及ばないように、職員に指示し、対策を練っております。久良岐能舞台の特性を理解したうえで、能動的に動くことができる能力を兼ね備えております。また、「人が好き」ということもあり、お客さまに積極的に声をかけをし、施設のご案内をしております。自らが積極的に行動に移し、職員の手本となるべき行動をとることがチームを一層まとめ上げることに繋がります。

7 施設の使命を達成するための取組 使命 1

【使命 1】幅広い市民に能、狂言その他の古典芸能を広める

地域の文化施設として市民に親しまれる施設となるため、幅広い市民が能楽等を知り、親しみ、体験することができる機会を提供します。

【使命 1 を達成するための具体的な取組】※提案者記載部分

事業計画の具体例

●日本舞踊早わかり公演



日本舞踊基礎講座の導入事業として開催。出演は日本舞踊基礎講座の講師にお願いし、多くの方に気軽に参加していただけるよう、日本舞踊に関わる小話を聞いていただき、実際にプロの舞踊を鑑賞した後、実際に体験をしていただく催しです。楽しさ、面白さを強調した日本舞踊体験の会とします。

〔実施時期〕5月予定
〔参加人数〕70名程度
〔料金〕3,500円



●能楽体験大会



謡・仕舞講座、囃子講座の導入事業として開催。出演は各講座の講師にお願いし、謡・仕舞を流儀別に、囃子は楽器別に、丁寧に体験し、習いたいものを見分けるように指導します。また、各流の先生方と個別にお話しできる機会を設け、受講前に疑問点を解消できるようにしております。

〔実施時期〕6月予定
〔参加人数〕50名程度
〔料金〕2,000円



●所蔵能装束公開展示



虫干しを兼ねて、久良岐能舞台所蔵の能装束展示を行います。多くの方に足を運んでいただくために、当日は無料開放いたします。展示の際には各装束についての説明パネルを日本語・英語表記のものをご用意し、装束についての理解を深めていただけるようにいたします。

〔実施時期〕9月予定
〔参加人数〕50名程度
〔料金〕無料



7 施設の使命を達成するための取組 使命1

●久良岐ナイト



久良岐能舞台知名度向上のため、自然豊かな環境を活かした怪談講談を行います。庭園は夏らしくホラーテイストな飾りつけをし、その庭を抜けた先で能舞台にたどり着く、敷地全体を楽しんでいただく催しです。地域の方が能舞台に触れていただくことを目的としています。

〔実施時期〕 8月予定
〔参加人数〕 100名程度
〔料金〕 1,000円



●能の魅力発信プロジェクト 蠟燭能



能楽をあまり見たことのない方も楽しめるよう、久良岐能舞台の環境を活かし、他ではあまり目にすることのない「蠟燭能」を実施します。廉価で参加でき、初心者でも内容を理解できるよう、ハンドブック（日本語・英語表記）を作成し、公演前には能楽師による解説を行なうことで、能楽の普及に努めます。

〔実施時期〕 10月予定
〔参加人数〕 100名程度
〔料金〕 3,500円



●久良岐ワールド

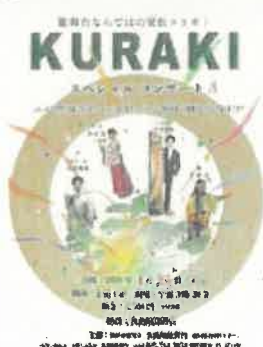


新規顧客獲得のため、久良岐能舞台の環境を活かし、茶会と一流演奏家による本格的なクラシックコンサートを実施します。能舞台の音響の素晴らしさは演奏者からも高評価をいただいております。茶立ては、久良岐能舞台を普段利用していただいている茶道の先生にお願いしております。普段、久良岐能舞台になかなか訪れない若年層にアプローチする催しです。

〔実施時期〕 12月予定
〔参加人数〕 80名程度
〔料金〕 2,000円



●KURAKI コンサート



新規顧客獲得・若年層にも参加していただく目的で実施します。久良岐能舞台は昔から囃子（音楽）で多くの人間国宝を育ててきました。その縁から、久良岐発の音楽ユニットを結成し、コンサートを行います。ペダル・スティール・ギター、笛のコラボレーション等、能舞台ならではのコンサートをお楽しみいただけます。

〔実施時期〕 9月予定
〔参加人数〕 100名程度
〔料金〕 3,000円



7 施設の使命を達成するための取組 使命1

●久良岐狂言会



伝統芸能の中でも人気の高い狂言の公演を実施します。伝統芸能に親しみを持っていただけるよう、狂言師による解説や話を交えながら公演を実施します。

〔実施時期〕 2月予定
 〔参加人数〕 100名程度
 〔料金〕 3,500円



【提案者が提案する指標】※提案者記載部分

多くの市民に足を運んでいただき、能楽等の伝統芸能に広く親しんでいただくために、上記のような取組を行ってまいります。初めて来館された方にも能楽等の魅力を広め、二度三度と足を運んでいただき、施設のファンになっていただくことを目指します。

【業務の基準で設定している指標】

目標値※提案者記載部分

	目標値※提案者記載部分	
	2年目	5年目
定量指標①：磯子区・南区・港南区の属性別総人口比に対する年齢別の事業参加者の比率	0～14歳：5% 15～64歳：45% 65歳以上：50%	0～14歳：7% 15～64歳：48% 65歳以上：45%
定量指標②：事業参加者数に対する初めて来館した人の数の割合（アンケート集計）	4割	5割
定量指標③：自主事業の実施回数	年間8回	年間8回以上
定量指標③：学校プログラムの実施校数（3校以上）	3校以上	3校以上
定性指標①：事業参加者、子どもたちや学校の声（アンケートやインタビュー調査）	実施100%	実施100%

【上記の取組を行う理由】※提案者記載部分

能楽等の伝統芸能に市民の関心や興味を広げる

「伝統芸能」と聞くと「堅苦しい、敷居が高い、自分とは縁遠いもの」と思われることが多く、なかなか関心を持って貰うことが難しいものです。しかし、昔の言葉を使っても同じ日本で親しまれてきた芸能ですので、内容を知れば理解できるものです。一度足を運べば一気に距離感は無くなり、“楽しい、美しい”と思ってもらえるのも伝統芸能の特徴です。能楽等の伝統芸能に触れたことのない方々に一度足を運んでいただき、二度三度と楽しみを求めて来館していただけるようにするのが私たちの役割です。この役割を果たすため、様々な魅力的な伝統芸能の鑑賞等の機会を企画してまいります。

8 施設の使命を達成するための取組 使命2

【使命2】能楽等に携わる人材を育む

市民の活動を支援することで、近隣住民を中心とした市民の文化芸術活動の可能性を広げます。

【使命2を達成するための具体的な取組】※提案者記載部分

事業計画の具体例

●能楽講座（謡・仕舞、囃子講座）

平成23年度から行っている能楽講座を引き続き実施してまいります。能の謡や仕舞、囃子の講座は、全国各地でたくさん開催されています。しかしそのほとんどは10回以内、期間にして3ヶ月位で終わってしまうものが多くあります。久良岐能舞台では、謡や仕舞、囃子の楽器を習いたい皆さまに、能楽の新たな魅力を見出しながら、一生続けていける楽しみとしていただければと、一年を通じて教室を開催しております。久良岐能舞台が誇る素晴らしい講師陣が、丁寧に教え、皆さまを生きた能楽の世界に導いてくれます。講座修了後は各講師の個人講座に紹介する他、引き続き久良岐能舞台でもお稽古できるよう、中級講座も開設しております。

また、公共施設での事業という事も踏まえ、研鑽会では講師への謝礼はなく、講座受講料についても月謝ではなく毎回の支払いにしております。



- 〔講師〕宝生流：和久莊太郎、喜多流：内田成信、金春流：山井綱雄・村岡聖美
 笛：小野寺竜一、小鼓：森貴史、大鼓：大倉栄太郎・大川典良
 〔実施回数〕謡・仕舞講座：各流 月3回、囃子講座：各楽器 月2回
 〔募集数〕能楽講座：各流5名以上 囃子講座：10名以上
 〔受講料〕能楽講座：(初級) 1回3,000円、(中級) 1回3,500円
 囃子講座：1回3,500円

●日本舞踊基礎講座

平成24年度から行っている日本舞踊の講座を引き続き実施してまいります。日本舞踊においても、能楽同様愛好者の減少が課題となっております。日本舞踊の愛好者を育成する事業です。講座修了後は講師の団体に紹介する他、引き続き久良岐能舞台でもお稽古できるよう、中級講座も開設しております。

受講する毎にポイントを付与し、一定のポイントを獲得したら1回分の受講料を無料にする等、参加しやすい環境を整えております。



- 〔講師〕おどりの空間
 〔実施回数〕月4回
 〔募集数〕10名以上
 〔受講料〕(初級) 1回3,000円、(中級) 1回3,500円

8 施設の使命を達成するための取組 使命2

次世代育成のための取組

● 小学校向け「狂言鑑賞教室」(インリーチ)

狂言は小学校6年生の国語の教科書に掲載されており、国語学習の対象となっております。しかし、多くの先生方は狂言を鑑賞したことがなく、授業の際はCDを流して行っているという話を伺いました。そこで、私たちは本物の狂言に触れていただきたいという想いから「小学校向け狂言鑑賞教室」を平成20年度から毎年秋ごろに実施してまいりました。狂言の歴史や鑑賞の仕方、セリフ回しについて解説をしたうえで、実際に狂言を鑑賞し、最後には自分たちも体験をして狂言についての理解を深めてもらいます。この体験により、「狂言は難しいもの」というイメージを払しょくし、自分たちも日常的に使う言葉を少し変えた表現で話しているだけで、難しいものではないということを理解していただくことができました。また、体験の際には、隣の友達と楽しみながら狂言の表現を学んでいただきました。質問コーナーでは積極的に狂言についての質問をする光景が見え、興味を持ってもらうことができていると感じております。

先生方の中にも、この事業により狂言に興味を持ち、実際に能楽堂に足を運び狂言を鑑賞したというお話を伺うこともありました。

本事業は、久良岐能舞台近隣の磯子区・南区・港南区の市立小学校を対象とし、磯子区のご協力のもと、参加校を調整し、横浜市における無償の教育支援事業として実施しております。



● 第3期の実施状況

実施年度	参加小学校数	参加児童数	実施回数	備考
2016年度	16校	1,221名	9回	
2017年度	13校	1,060名	8回	学校行事の為、南区は1回分中止
2018年度	17校	1,358名	9回	
2019年度	14校	1,204名	9回	
2020年度	-	-	-	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止

● 小学校向け「狂言鑑賞教室」(アウトリーチ)

久良岐能舞台の「小学校向け狂言鑑賞教室」は、1時間の授業として行うため、施設へ歩いて来ることが出来る範囲の小学校であることが前提となり、その結果一番近い3区(磯子区、港南区、南区)が対象となりました。他の区からも対象にならないかとの要望も頂いておりますが、施設利用上の都合や狂言師の都合、費用の都合等のため、現在は対象範囲の拡大には至っていません。

そこで、私たちは子供たちに等しく芸術文化の体験をしてもらえるよう、横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局と協力し、久良岐能舞台で毎年実施している「小学校向け狂言鑑賞教室」を提供することとしました。平成21年からコーディネーターを務めておりますが、人気の高い「伝統芸能」の分野はコーディネーターを務める施設が少ないため、事務局からお喜びいただいております。今後も伝統芸能部門のコーディネーターを継続して努めていきたいと考えております。



8 施設の使命を達成するための取組 使命2

「4歳からの能楽」講座

伝統芸能が“とっつきにくく、自分とは縁遠いもの”というイメージを持たれるのは、これまで触れる機会がなかったということが大きな原因だと考えております。私たちは、能楽等の伝統芸能の振興には、子どもの時代に良い体験をすることが欠かせないと信じてまいりました。これを確実に実行してゆくことが伝統芸能の維持に繋がると考え、「4歳からの能楽」講座を開設しました。能楽を学ぶのはもちろん、能舞台での礼儀作法、日本人の品格を育む講座です。

〔講師〕金春流能楽師 山井綱雄

〔実施回数〕月1回

〔募集数〕20名程度

〔受講料〕1回2,500円



利用者の活動支援

能楽に限らず、利用団体の多くで新規入会者が少なく、活動が次第に低下しているのが現状です。その現状を打破すべく、私たちは利用団体のメンバー募集の支援を行います。施設利用申込み時に、利用情報のHPへの掲載希望を併せて伺い、希望する内容を施設のHPに掲載します。

また、自主事業の配布物に募集チラシを挟み込んだり、活動の場を探している方を団体に紹介いたします。久良岐能舞台の講座の修了者に以後の研鑽のための団体として施設の利用者団体も紹介対象に含めるなどして、利用者団体の活性化につなげてまいります。



【提案者が提案する指標】※提案者記載部分

次世代育成のための取組を積極的に行います。また、利用団体と活動場所を探している方の懸け橋となるよう、上記のような施策を行い、利用者の活動支援をいたします。

【業務の基準で設定している指標】

目標値※提案者記載部分

	目標値※提案者記載部分	
	2年目	5年目
定量指標①：能楽等の技術を学ぶ講座や愛好者の交流ができる事業数	7講座	7講座以上
定量指標②：事業参加者数に対する継続的な事業参加者の割合（アンケート集計）	7割	8割
定量指標③：アンケート回収率	100%	100%
定性指標①：近隣の能楽等を中心とした文化団体の状況把握	状況把握に努めます	さらに深く状況把握

【上記の取組を行う理由】※提案者記載部分

伝統芸能を浸透させていく施設の役割を全うしたい

高齢化に伴い、久良岐能舞台で活動されている団体も年々縮小されており、残念ながら解散となってしまった団体も見てきました。伝統芸能愛好者の数は年々減少してきているのが現状です。

私たちは、久良岐能舞台においては伝統芸能の愛好者や鑑賞者の育成こそが最も大切な仕事であると考えています。「伝統芸能」とは、長い時間をかけて生まれ、受け継がれてきたものです。時代を超えて多くの人に受け継がれ、柔軟に試行錯誤を重ねて芸を磨き上げてこれまで愛されてきたからこそ、現代にも継承されているのです。日本の伝統芸能は、過去の遺産ではありません。現在も継承され、私たちを楽しませてくれる芸能です。古来から愛され、親しまれてきた芸能を現代、そしてこの先の未来にも継承していくために、愛好者の育成に力を入れてまいります。

9 施設の使命を達成するための取組 使命3

【使命3】能楽等をはじめとする市民の活動の場となる

能楽等をはじめとした文化芸術の活動の場を市民に提供し、市民自らの活動を支援します。

【使命3を達成するための具体的な取組】※提案者記載部分

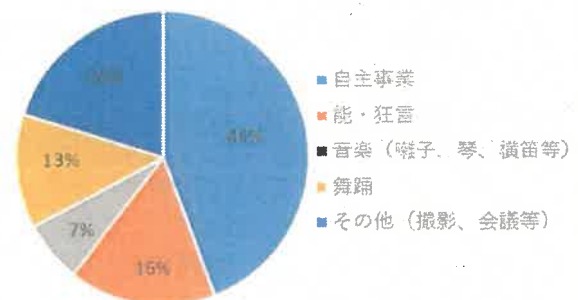
市民の様々な文化芸術活動を支援

久良岐能舞台の利用日数の約6割は能楽等の公演、稽古、練習その他の活動に利用されている貸館事業です。この事業は自主事業と並んで最も重要な事業と認識しています。能楽等伝統芸能でのご利用はもちろんのこと、剣舞や婚礼の前撮りなど、様々な用途でご利用いただいております。

能楽等の普及を目的とした施設ではありますが、先述しておりますように、伝統芸能愛好者団体は年々減少傾向にあります。そのため、能楽等の貸館利用だけでは運営が成り立たなくなっているのが現状です。右の表のとおり、利用目的を見ると、古典芸能以外でのご利用も全体の約2割を占めます。能楽等、古典芸能での利用を優先としますが、その他の目的での利用についても、能舞台の利用ルールを遵守していただいたうえで貸し出しをいたします。

門戸を広げることで、市民の様々な文化芸術活動の支援をいたします。

利用目的



● お客さまに気持ちよくご利用いただくために

久良岐能舞台は能舞台、和室、茶室の貸出を行っておりますが、それぞれのお部屋は防音にはなっておりません。そのため、謡や楽器演奏でのご利用の際には、音漏れの配慮が必要となります。私たちは、ご利用のお申し込みの際に、他の部屋で音漏れが発生する可能性がある旨を伝え、それでも問題ないというお客さまにのみ、同日同時間に貸し出しを行っております。小さな取り組みではございますが、これにより、お客様同士のトラブルを避けることができ、気持ちよく施設をご利用いただくことにも繋がっております。



● ご要望を汲み取る「先回り」の対応

私たちは常にお客さまの立場に立ったホスピタリティの心を持ち、施設利用を柔軟にサポートすることを目指してまいりました。事前に伺っている備品は先に準備しておく等、使いやすく、活動しやすい施設環境の整備を行い、お客さまの利用をアシストします。

久良岐能舞台は交通の便があまり良いところではないので、駅からタクシーやバスで来館される方が多くいらっしゃいます。そのため、受付ではタクシー会社の連絡先を貼りだすほか、バスの時刻表も常に最新のものをご覧いただけるようにしております。

久良岐能舞台の窓口にいらっしゃるお客さまは主に利用時間直前と直後に多い傾向にあります。そのため、来館の少ない時間帯に備品の整備や庭園の清掃を行うようにし、お客さまをお待たせすることのない、効率的な運用ができるよう心がけております。



9 施設の使命を達成するための取組 使命3

● 活動の場を提供

久良岐能舞台で活動している方の中には、自分たちが磨き上げてきたものを発表する場がないという方が多くいらっしゃいます。そういった方々のために、多くの方々に目を留めていただけるよう発表・活躍の場を提供いたします。過去にも自主事業において、茶室をご利用いただいている茶道の先生に茶を点てていただいたり、装束展での人形舞踊、庭園での雅楽の演奏会などを行いました。活動の場を提供することで、それを目標に稽古に励むことができ、モチベーションの向上につながります。こうした取組みがさらなる文化芸術の発展の一助となれたら幸いです。



【提案者が提案する指標】※提案者記載部分

幅広い利用目的でご利用いただけるということをアピールし、多くの市民にご利用いただける環境を提供します。また、活動の場を提供することで、さらなる文化芸術活動の推進に貢献します。

【業務の基準で設定している指標】

目標値※提案者記載部分

		2年目	5年目
定量指標①：総来場者数		15,000人	20,000人
定量指標②：貸館利用率	(能舞台)	45%	55%
	(和室)	29%	38%
	(茶室)	9%	15%
定量指標③：貸館利用の相談・広報支援件数		10件	15件
定性指標①：利用者の状況についての現状把握		状況把握に努めます	さらに深く状況把握

【上記の取組を行う理由】※提案者記載部分

文化芸術活動で「心」を豊かに



文化芸術は、食事や衣服などとは違い、生きていくうえで必ず必要なものというわけではありませんが、人々に楽しさや感動、安らぎや生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするものです。新型コロナウイルスの影響で外出自粛が続く中、文化芸術活動が制限されたことで、生活するうえでどれだけ文化芸術に支えられてきたのか、改めて実感いたしました。

外国では、外出が制限される中、人々が自宅のベランダで合唱をしたというニュースが配信され、日本でもオンライン形式の音楽ライブや演劇等で、多くの方が励まされてきました。技や精神を磨いて表現する文化芸術は、人の心を動かします。久良岐能舞台でも、休館明けには感染症対策を行いながらも、すぐに活動を再開される方が多く、「ずっと待ちわびていた」というお話も伺いました。人々の生活を豊かに彩る文化芸術活動を支援することが、古来から文化芸術の活動の場となっていた当施設の役割であると考えております。

10 施設の使命を達成するための取組 使命4

【使命4】文化芸術を媒介として地域の力を結びつける

地域の様々な施設・団体・資源を有機的に結びつけ、地域コミュニティのベースとなる文化的モメンズの形成に寄与します。

【使命4を達成するための具体的な取組】※提案者記載部分

能楽堂はどこにでもある施設ではない

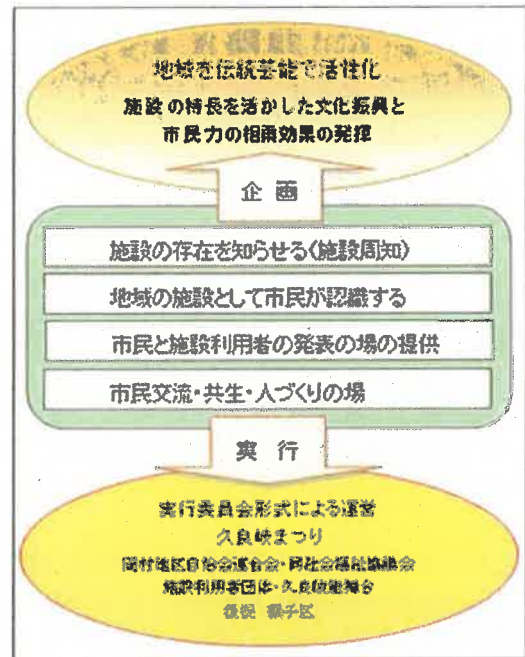
能楽堂は横浜市に2施設しかありません。しかし全国でも同一自治体に複数あるのは珍しいことです。横浜市能楽堂とは、相互連携をしております。

私たちは、久良岐能舞台が地域と共にあることを念頭に、地域と手を携えて能楽等の伝統芸能の普及振興を図ります。この目的を達成するため、以下の事業を引き続き推進してまいります。

「久良岐まつり」の開催

地域の人々に親しまれている「久良岐まつり」を引き続き、年に1回開催いたします。

弊社が第1期の指定管理者となった当初は、近隣の方々でも久良岐能舞台がどんな施設で、何をしている施設なのかというのを知らない方がほとんどでした。そのため、まずは施設の知名度を向上させることが最も重要だと考えました。久良岐能舞台は市民の文化施設です。地域市民が自分たちの施設と認識し、利用することがあるべき姿であると考えます。しかし、能舞台は利用上のルールがあるため、地域市民の利用といっても制約があります。そこで、地元の自治会連合会等に「知名度を上げ、多くの方に来館していただきたいがどうしたら良いか」を相談した結果、地域住民との協働事業として久良岐まつりが誕生しました。台風や新型コロナウイルスの影響で、中止となってしまった年もありましたが、10年以上にわたって開催しているため、現在は地域住民の方々にとって、恒例行事となり、多くの方に来館していただき、久良岐能舞台に賑わいをもたらす原動力となっております。



- 1日目：市民利用舞台発表
- 2日目：能舞台行事



10 施設の使命を達成するための取組 使命 4

久良岐まつりは2日間にわたって開催されます。老若男女、延べ2,000名以上の方が訪れます。庭園には、自治会により、焼き鳥やカレー、餅などの屋台が11時頃から出ており、昼過ぎには売り切れてしまうほど人気です。

また、庭園に仮設舞台を設置し、開会式を行った後は、子供から大人まで、次々に舞台上がって発表を行ったり、近隣の岡村中学校の吹奏楽演奏もあります。

単に施設に足を運んでいただくだけでなく、多くの地域住民に親しまれ、文化交流の場となる行事となっております。

また、10年以上にわたり開催してきた行事ですが、毎年変わり映えがなければ飽きられてしまうことも懸念しており、何か新しいことを取り入れたいと考えております。

例えば、庭園に仮設の能舞台を設置し、そこで能公演を実施することを検討しております。

久良岐能舞台は、もとは稽古のために建てられた施設で、他の能楽堂と比べ、舞台も小さく見所もスペースがあまりないため、せっかく多くの方が訪れていても、全ての人に見ていただくことは叶いません。庭園に仮設の舞台を設置し、そこで公演を行なうことで、より多くの方に見ていただくことができ、能楽の魅力を広められるのではないかと考えました。舞台の設置は弊社技術グループに所属する、舞台の専門スタッフが行い、音響や照明等も活用した本格的な演出をおこなうことも検討しております。舞台管理会社である弊社の強みを生かした公演の実施を検討しております。



● サポートスタッフによる市民協働運営

11ページの「運営組織の構造」にも記載しておりますが、公募によるボランティア、“サポートスタッフ”による協働運営を推進してまいります。サポートスタッフには、主に庭園清掃や自主事業のお手伝いをさせていただいております。私たちは、サポートスタッフが活動を通じて、有意義な時間を過ごしていただけるように努めております。

現在、近隣住民の方や能楽講座の受講生、元職員等、様々な方に活動していただいております。また、サポートスタッフで活動されていた方が、私たちの仕事を知り、そのまま職員として活躍している方もおります。

自主事業のサポート以外は、活動日時の指定がないため、都合の良い時間で活動することが可能です。活動時間はそれぞれですが、人間関係の輪が広がるようにサポートスタッフ同士の交流が図れる場も設けております。

活動を通じて、やりがい・生きがいを感じていただき、施設に愛着を持っていただければと考えております。



● 庭園管理を楽しむ“磯子グリーンサポーター”



磯子グリーンサポーターは、磯子土木事務所が主催している地域緑化に関する市民ボランティアグループです。植栽に関して学んだことを、久良岐能舞台の敷地を实践の場として、庭園の樹木の一部剪定や草花の管理等を行っています。私たちが日頃手の行きわたらない部分について、ご指導・ご協力をお願いしています。

10 施設の使命を達成するための取組 使命4

● 近隣施設との連携

磯子区の館長連絡会に出席し、近隣施設との交流を図っております。そこで互いの課題を共有し、課題解決に向けて協力しております。過去には、伝統芸能の公演を行いたいが、業界に繋がりが無いから紹介してほしいという話を聞き、磯子公会堂に狂言師を紹介したり、杉田劇場に能楽師を紹介したりしました。また、他施設で伝統芸能の活動場所を探している団体に久良岐能舞台を紹介していただいたり、公演のチラシを相互に配架する等、互いの施設を盛り上げるための協力体制を築いております。七夕には久良岐能舞台の竹を持っていき、施設の飾りとしていただいたこともございます。また、「いそびゴールドデンウィーク」のスタンプラリーにも協力し、地域を盛り上げるための活動に積極的に参加するようにしております。



今後も、近隣施設等と連携しながら、公共施設として、地域活性化のための活動を推進してまいります。

【提案者が提案する指標】※提案者記載部分

地域の様々な団体や施設と連携し、事業の共催や、地域コミュニティの催しに積極的に参加することで、地域の文化芸術振興を推進します。また、弊社で管理運営を行っている南公会堂とはチラシの配架や情報交換等を行い、事業連携を視野に入れてまいります。

【業務の基準で設定している指標】

目標値※提案者記載部分

	目標値※提案者記載部分	
	2年目	5年目
定量指標①：地域の施設・団体等と共催・連携して実施する事業数	1件以上	2件以上
定量指標②：事業参加者数に対する磯子区・南区・港南区在住者の参加者数の割合（アンケート集計）	30%	40%
定量指標③：アンケート回収率	55%	60%
定性指標①：地域の施設・団体等との連携状況のレポート	事業報告にて報告、及びモニタリングにて公表	事業報告にて報告、及びモニタリングにて公表
定性指標②：連携したことによる地域の声（インタビュー調査）	事業参加者にヒアリング	事業参加者にヒアリング

【上記の取組を行う理由】※提案者記載部分

地域の公共施設として、地域活性化の一助となりたい

久良岐能舞台の認知度を高めるためには、地域団体や施設の協力が不可欠です。先述している久良岐まつりも、自治会の協力があって実現できたものです。久良岐能舞台は地域の中のひとつであり、町内会費も支払っております。また、職員も近隣住民であるため、「地域を盛り上げたい」という想いを持っております。私たちの活動により、施設が地域コミュニティのベースとなり、文化芸術活動を活発に行える環境をつくることで、人材育成や地域イメージの向上に寄与したいと考えております。

11 施設の使命を達成するための取組 使命5

【使命5】持続可能性を高める施設運営を行う

法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、安全で快適な施設を維持する。また、効率的な経費の執行や収入増の取組等により、安定的な施設運営を行う。

【使命5を達成するための具体的な取組】※提案者記載部分

久良岐能舞台の美しい環境・美観の維持、安心してご利用いただくために

久良岐能舞台は緑生い茂る広い敷地、佇まいと施設が一体となって魅力を形成しています。来館される多くのお客さまも、一度訪れると素晴らしい場所だと仰います。そのため、景観を維持するためにも施設の適切な保全管理を行うと共に、公園を所管する南部公園緑地事務所と緊密に連携し、樹木等の適切な管理が欠かせません。その上で、久良岐能舞台の職員による毎日の適切な清掃と管理を実施し、魅力的な環境、美観の維持に努めます。また、施設運営の基本となる「安全性」を確保し、お客さまに安心してご利用いただけるよう努めてまいります。

● すべては「安全・安心」から

安全運用マニュアル

施設の管理を行うにあたり、最も重要なのは「安全性」です。私たちは、安全運用についてのマニュアルを基本として管理を行い、職員同士で周知徹底を図っております。

久良岐能舞台における維持保全業務は、建物部分と庭園部分の両方にまたがり、広い範囲の業務があります。安全安心で快適な施設を実現するための維持保全業務としては、定められた管理規定に基づく業務の確実な実施と共に、季節や天候状況により日々変化する庭園の状況監視が、安全な利用に直結するものと認識しています。

① 日常点検の実施

施設の維持管理には、日常的な施設や設備の点検が大切です。日常点検では、始業前の目視による状態確認、設備の動作音の異常の有無を確認することで、大きな不具合が起きる前の段階で修繕の手配が可能となります。自ら修繕が可能な不具合に関しては、自ら修繕にあたります。これまで、柱の木片の破損、物置屋根の設置、エアコン吹き出し口温度調整用パネルの設置等を行ってきました。自ら修繕を行なうことにより、経費削減を視野に入れながら“施設への愛情”を育んでまいります。

久良岐能舞台は、純木造の建物であり、敷地の特性から湿度が高く、常に細かな変化をしています。梅雨時は木材が水分を含んで膨張し、扉の開閉に支障がでたり、廊下等の床下の材料が腐食したりします。設備についても経年劣化による器具不良が多く、小破修繕だけでは対応が難しい部分もありますが、毎日の点検で細やかに気を配るようにしております。

業者へ修繕を委託する場合には、現に設置されている設備の場合は、同一製造者の市内代理店等を基本とし、それ以外のものについては、横浜市内の業者を最優先に選定し委託をします。



11 施設の使命を達成するための取組 使命5

②南部公園緑地事務所との連携

久良岐能舞台の庭園管理の管轄は、南部公園緑地事務所となります。しかし、私たちは関係ないという事はなく、清掃等で毎日一番身近に庭園を見ている私たちがからこそ、すぐに気づけることは多々あります。

台風後の樹木の倒壊の可能性や、久良岐公園に続く階段の一部破損など、これまでも私たちが見回り、気付いたことをすぐに連絡し、修繕の手配をしていただいております。久良岐能舞台の庭園管理は、南部公園緑地事務所との協力が不可欠です。



③定期点検の実施

空調や設備点検を年4回実施いたします。久良岐能舞台は、歴史ある施設ですので、施設や設備の老朽化が懸念されます。職員による日常点検のほか、定期的な点検を行なうことで、施設や設備を常に最適な状態に保つように努めます。

点検の結果、不具合があった場合は貴市にご報告のうえ、速やかに修繕の手配をいたします。



施設・庭園の維持管理は業務の基準に従い、適切かつ確実に業務を実施してまいります。

業務区分	業務内容	実施方針・基準等
施設清掃業務	館内一般清掃 能舞台清掃 屋根上落葉等清掃	施設内各部各室清掃、毎日実施(利用毎清掃) 能舞台一般清掃(毎日)、糠袋による舞台磨(月2回) 落葉等堆積状況により適宜実施
施設保全業務	能舞台維持管理 建物維持管理 設備保全	能舞台床等損傷点検を適宜実施 床、外周壁、腰壁、窓枠等目視点検、適宜実施 電気設備、空調設備、給排水設備等点検、毎月実施
備品管理業務	備品管理台帳による点検	能装束、能舞台用品、茶室用備品、各種備品 毎年度期末に棚卸資産管理点検を実施 寄託品の点検管理を実施 能装束の虫干しを年1回実施(公開)
庭園内外清掃業務	庭園内一般清掃 門前、道路等清掃 池の落葉清掃	落葉等清掃、毎日実施 表門前道路、外部道路等清掃、毎日実施 上・中・下3池の落葉等除去、適宜実施
庭園樹木等管理業務	樹木等管理 花卉植物管理	危険管理の観点から伐採、枝払いの実施を南部公園緑地事務所に要請、適宜実施 定期的な植栽刈込みを南部公園緑地事務所に要請、年2回適度実施 花卉植物の移植、植生管理、雑草取等実施、適宜実施
門扉開閉管理業務	表門扉開閉管理 山門扉開閉管理	開門午前9時、閉門午後5時、休館日以外毎日実施 開門午前9時、閉門午後4時30分、休館日以外毎日実施 但し天候により危険が予測される場合は閉門
庭園設備等管理業務	庭園灯点滅管理 四阿管理 その他設備管理	庭園灯の点滅管理、毎日実施 四阿が利用できるように管理、毎日実施 水道設備、通路等の管理

11 施設の使命を達成するための取組 使命5

● 警備防災業務

多くの来館者と庭園散策の市民の安全を確保するため、見回りの実施や、来館者・庭園散策者への積極的なお声がけ、機械警備による防犯等、犯罪や火災等への警戒と事故等の未然防止のための取組みを行ってまいります。また、定期的に防災訓練を行なうことで、有事の際にもすぐに動けるようにしております。



業務区分	業務内容	実施方針・基準等
庭園防犯安全管理業務	庭園防犯管理	敷地内の防犯管理のため、見回りを実施、毎日数回敷地への出入りに注意を払う、常時
施設警備業務	夜間機械警備	職員退出後の機械警備、毎日
防災業務	消防訓練	施設内での火災や激震災害等への対応訓練を実施、年2回実施

● 危機管理対策

久良岐能舞台の敷地は大きく成長した樹木の多い庭園と、純木造の建物による施設です。庭園内は傾斜面が多いため降雨や積雪の際には滑りやすくなり、安全管理は大切な業務になっています。また建物が純木造であるため、火災予防は最も注意を要する点であり、これら全体的な観点から久良岐能舞台の危機管理対策は重要です。

先述しておりますとおり、私たちは、久良岐能舞台に適した安全運用マニュアルを整備しており、マニュアルに沿って運営を行っております。清掃の際にも、久良岐能舞台は自然豊かな環境という事もあり、手袋や長靴を履いて、虫に刺されないような工夫をすることも必要です。全社的な安全に関する運用マニュアルもごございますが、久良岐能舞台では、他の施設とは異なる点が多々ありますので、施設に適したマニュアルで運用し、随時見直しも行ってまいります。

また、弊社は70以上の施設の運用管理を行っておりますので、他ホールで発生した事故等の情報は全施設で共有しており、自らの施設で同様のことが起きないように、対策をしております。例えば、火器を扱うことのない受付周りでも、危うく火事になりかねない事例がありました。これは、電源周りの埃の蓄積や、タコ足配線が原因で、そばに置いていた書類に引火してしまいそうになったというものです。幸い、大事には至りませんでした。このような経験を活かし、弊社管理ホールすべてで「電源まわり管理表」により、毎月電源周りの点検を行なうことを義務付けております。他ホールでの事例を当施設での運営に活かしてまいります。



11 施設の使命を達成するための取組 使命5

 効率的な経費の執行

施設運営上の経費という限られた経営資源を執行するうえで、欠くことのできない費用を過剰に抑制することはできません。「無駄を省くが無理をしない」という考えのもと、全体としてコスト抑制を果たすとともに、利用者のニーズにも同時に対応するものとします。

経費抑制分野	抑制方策と内容
事業経費	印刷費、事業制作費、事業運営費の節減～事業全般について再点検。
事務経費	事務作業の全てで節約～物品機材の寿命延長等、委託・発注の再点検。
光熱水費	不要なエネルギーの節減～冷暖房運転の節約、不利用時の消灯徹底。
用具・清掃等費用	修理不能な用具類の修繕～職員が自分で修理し、再使用する。
文具・事務用品	徹底的な無駄の排除～コピー紙等再使用、使える限り使用する。
施設保守管理費	故障、不具合の臨時的支出の低廉化を推進する。

【提案者が提案する指標】※提案者記載部分

施設に特化したマニュアルをもとに安全管理を行い、事故が起こらないように予防措置を行います。また小破修繕については、自ら修繕を行い、経費削減・施設や設備等の長寿命化を図ります。

【業務の基準で設定している指標】

目標値※提案者記載部分
数値が記載してある項目は、業務の基準で設定した数値のため変更しないでください

定量指標①：施設の管理瑕疵に起因する事故件数	0件
定量指標②：法定点検等の実施率	100%
定量指標③：修繕費予算の執行率	90%以上
定量指標④：自主的な収入を得るための取組と目標額	25万円以上
定性指標①：能舞台、能装束、庭園等の適切な保存・管理（装束の虫干しを含む）	年間スケジュールをもとに実施
定性指標②：施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング（アンケートやインタビュー調査）	毎年ヒアリングを実施
定性指標③：管理運営費推移の要因分析	本社で月1回、月次報告としてチェック

【上記の取組を行う理由】※提案者記載部分

久良岐能舞台は歴史ある舞台、そして美しい庭園が魅力の施設です。初めて来館された方も、美しい庭園と神聖な空気のある能舞台に魅力を感じて、「また来たい」と仰っていただけます。歴史ある施設なので、老朽化に伴い、小破修繕等は度々発生しますが、日常点検や定期点検により、最小限にとどめ、安心・安全にご利用いただくとともに、この魅力的な美しい環境を維持してまいります。いつまでも、地元の方々が自慢でき、誇れるような施設でありたいと考えております。

久良岐能舞台は公共施設ですので、文化芸術の発展を使命として掲げ、運営しております。そのため、必要以上の利益は追及せず適正な費用にて運営をおこないます。安定的な運営を行うため、「無駄を省くが無理をしない」運営を目指します。

12 施設の使命を達成するための取組 使命6

【使命6】新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する
 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下で、安全に自主事業及び貸館業務を実施し、市民の文化活動の基盤として施設運営を継続する。

【使命6を達成するための具体的な取組】※提案者記載部分

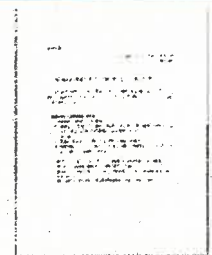
コロナウイルスと共生する運営体制

新型コロナウイルス感染リスクにより、大変困難な施設運営を今後も行うこととなります。2度目の緊急事態宣言が明け、また感染者数は増加傾向にあり、変異体ウイルスの感染も増えております。今後もウイルスとの戦いは続きますが、地域文化を絶やさないためにも、私たちには可能な限り施設を開館する責務があります。

職員はお客さまと直接接する「最前線」におります。手洗いや除菌等の感染予防措置は当然のこと、職員が「うつさない」「うつらない」を確実に実践するため、「コロナ対策10の約束」として、対策表を各事業所内に掲示し意識喚起を行っています。また感染が疑われた際の対応方針、従事者バックアップ体制フローも常備しており、もしもの時に備えております。

職員の感染の疑いがあった場合には、出勤はさせずに、PCR検査の結果が出るまでは自宅待機といたします。その間はシフト調整を行い、人数が足りない場合は、本社職員、または弊社が管理する近隣施設からバックアップ人員を派遣します。また、弊社では簡易PCR検査キットを常備しているため、濃厚接触が疑われた場合は、すぐに検査することが可能です。

弊社では、70館以上の施設運営を行っており、各施設での感染症対策についてや、感染者が出てしまった際の対応法等、情報共有を行っております。他施設での対応を取り入れながら、貴市の定めるガイドラインに沿って、対策を行ってまいります。



感染発生時の対応方針



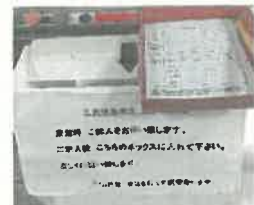
「コロナ対策10の約束」

● 感染症対策の取組み

感染症防止のためには、職員が気を付けるだけでなく、利用者にもご協力していただく必要があります。ご利用の際には、マスクの着用や人数制限等のお願いをし、ご理解いただいた上でご利用いただくようにしております。万が一、感染者が出てしまった場合に備えて利用者には団体メンバーの連絡先を把握していただき、濃厚接触が疑われた場合には、すぐにご連絡ができるよう体制を整えております。また、お客さまに安心してご来館いただけるよう、以下の対策を行っております。

① 感染症対策のための備品設置

- ・ 玄関入り口に消毒液を設置
- ・ 玄関入り口に非接触型体温計を設置
- ・ 湿度を適切に保つため、40畳用大型加湿器を2台設置
- ・ 定価でのフェイスシールドの販売
- ・ 来館者名簿の設置
- ・ トイレにペーパータオル・便座クリーナーを常備



12 施設の使命を達成するための取組 使命6

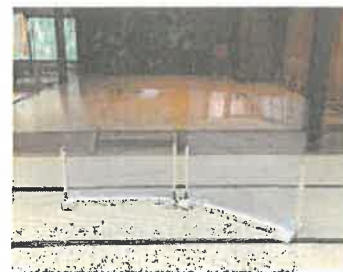
②事務所のレイアウト変更

- ・職員同士が向かい合わないようデスクを変更
- ・窓口にアクリルパネルを設置し、飛沫防止
- ・湿度を適切に保つため、加湿器を設置



③自主事業

- ・新型コロナウイルスの影響が未だ収まっていない状態での自主事業実施の際には、消防法で定められている約半分の人数である70名を最大人数として、人数制限を行った上で実施します。
- ・万が一、中止となった場合に備え、チケットは前売り販売を中止し、当日現金払いとします。
- ・見所に3台の換気ファンを取り付けました。1分で室内の空気全取り替えが可能です。
- ・90cm四方の透明アクリル板のパーテーションを2つ作成しました。講座の受講生や利用者に無料で貸し出しを行います。
- ・特製ベンチの間に透明のアクリル板を設置し、飛沫防止を行います。



● 収支見込みの考え方

新型コロナウイルスの影響は、未だ収まることなく、緊急事態宣言が明けた現在も、感染は拡大傾向にあります。リピーターのお客さまは、少しずつ利用を再開してくださっていますが、新規の利用者は少ないのが現状です。利用料金収入は、新型コロナウイルスの影響が落ち着くまでは増加は見込まれそうにありませんが、リピーターのお客さまが安心してご利用いただける環境を整備することで、引き続きご利用いただき、まずは現状の維持を図ります。また、政府が行っている各種支援も活用しながら、施設の運営を継続できるよう努めてまいります。

施設の運営を継続するためには、今後も貴市と協議の上、事業の見直しや閉館対応も必要となってくると思われれます。市民の皆様には文化活動を継続して実施していただきたいので、なるべく施設の貸出しは抑制したくないという思いがありますが、まずは感染防止に努めることが第一です。閉館や制限付きでの貸出しとなった場合には、光熱水費の節減や消耗品費の節約など、なるべく支出を抑えるようにし、収支のバランスを図ります。

13 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法、割引料金・減免等の運用方法の考え

【利用料金の設定】

※網掛け部分は変更できません。(単位:円)

種別	区分	午前		午後		夜間		1日		1日(上限額)	
		平日	土日、祝日	平日	土日、祝日	平日	土日、祝日	平日	土日、祝日	平日	土日、祝日
能舞台	入場料を徴収しない場合	7,500円	9,000円	10,000円	12,000円	10,000円	12,000円	27,500円	33,000円	27,500円	33,000円
	1,000円未満の入場料等を徴収する場合	9,000円	10,800円	12,000円	14,400円	12,000円	14,300円	33,000円	39,500円	33,000円	39,500円
茶室	1,000円以上の入場料等を徴収する場合	10,500円	12,600円	14,000円	16,800円	14,000円	16,600円	38,500円	46,000円	38,500円	46,000円
	和室	2,200円	2,600円	3,000円	3,600円	2,800円	3,300円	8,000円	9,500円	8,000円	9,500円

13 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の考え

利用料金の考え方

現行の利用料金を継承し、利用者の負担の増加と混乱が無いようにします。施設の利用料金は利用者にとって大変デリケートな問題であり、安易に変更することはできません。また、料金は横浜市能楽堂条例で定められており、料金の変更には条例改正が必要となります。私たちは毎年、利用者の皆様にアンケート形式で施設のご利用についてご意見を伺っています。利用者アンケート調査結果では 80%の団体が利用料金について適切あるいは安いとお答えになっています。「高い」と回答された方々は、少ない人数で能舞台を利用されている方々で、多くの利用団体は「適正である」と回答されています。利用料金の適否のご判断は必ずしも単に料金額のみではなく、職員の対応や利用環境などの複合的な要因が関係していると私たちは考えています。そうした考えから、現在の利用料金は適正であると考えています。

【利用者アンケート調査】で示された利用料金へのご判断結果

	高い	やや高い	適正	やや安い	安い
利用料金はいかがですか	4%	4%	72%	4%	4%

支払方法について

利用料金の支払いにつきましては、横浜市能楽堂条例第 13 条の規定に基づき、利用許可を受ける際に前納するものとします。ただし、横浜市能楽堂条例施行規則第 10 条の規定により、国または地方公共団体が利用する場合は後納ができるものとします。支払方法につきましては、現状、窓口での現金払い、現金書留、振込で対応しております。近年ではキャッシュレス決済がどんどん増えてきておりますが、導入には多額の費用がかかる他、久良岐能舞台の利用者は高齢の方が多く、多くの需要を見込めないため、現行通りの方法で運用してまいります。



支払方法について

利用料金の減免適用については、横浜市能楽堂条例第 14 条及び、同施行規則第 11 条の規定するところによります。割引料金については、稼働率の増加を図るため、利用率の低い時間帯を対象に割引制度を導入することを検討しております。

●減免料金

横浜市共催事業、または学校が主催する事業	50%減免
指定管理者が主催する事業、または共催する事業	100%減免

●割引制度

平日午前区分で、利用日から 1 か月切っている場合の予約	能舞台：1,000 円引き 和室・茶室：500 円引き
------------------------------	-----------------------------

14 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

指定管理料以外の収入増加のための取組み

指定管理料以外の収入としては、利用料金収入・自主事業収入が主なものです。久良岐能舞台の安定的な運営を行うには、これらの増収が不可欠です。値上げをすればすぐにでも増収は叶いますが、久良岐能舞台は公共施設であり、市民の文化芸術活動を促進する場でもあります。私たちの利益を優先するのではなく、利用者の利益を追求することが、私たちの使命であると考えます。しかし、多少の利益がなければ、持続して運営を行うことは叶いません。そこで、指定管理料のみに依存しない収入構造確保のため、以下の取組みを行ってまいります。

● 講座受講生増加を目指します

久良岐能舞台では各種講座を実施しておりますが、年々受講者数は減少傾向にあり、受講料収入も減少してきております。受講生の増加を図るための取組として、次のことを行います。

- ・ 講座受講の募集時期は、これまで講座導入事業の実施に合わせ、5～6月に募集していましたが、募集時期を2～3月に早めます。
- ・ 講座受講生募集のためのチラシを作成し、駅構内・PR BOX への配架、各種掲示板や市内の他施設での掲示、配架を行います。
- ・ SNS やホームページで募集の呼びかけを行い、広く周知いたします。



● 貸館の利用促進を図ります

利用料金収入は、久良岐能舞台の運営には欠かせない収入源となります。お客さまの利用促進を図るために、次のことに取組んでまいります。

- ・ 利用の少ない時間帯（平日午前区分）の利用を促進するため、34 ページにも記載しております“割引制度”の導入を検討してまいります。
- ・ ドラマや CM 撮影の際、利用料金とは別に“撮影協力金”をいただいております。また、個人での撮影利用（婚礼前撮り、PV 撮影等）については、入場料 1,000 円以上徴収する場合と同様の利用料金設定をしております。能楽等古典芸能以外の利用として、撮影での利用も促進してまいります。
- ・ 久良岐能舞台の自然に囲まれた静かな環境を活かし、地域住民の方に向け、リモートワークでの利用も促進してまいります。延長コードや無線 LAN を無料で開放しておりますので、集中したい仕事や作業を行うには、とても良い環境です。



● その他の収入増加のための取組み

指定管理料や利用料金以外に、物品販売や助成金の獲得により、収入の増加を図ります。

- ・ 物品販売では、主に書籍や足袋を販売し、売り上げの 1 割を手数料収入とします。
- ・ 文化芸術事業に関する助成金を積極的に申請します。支出の多い事業については、事業参加者増加を図るとともに、助成金も獲得することで、収支バランスがとれるように尽力いたします。

14 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

経費削減のための取組み

私たちは、「無駄を省くが無理をしない」という考えのもと、小さな積み重ねを行なうことで、余分なコストの削減に努めてまいります。

- ・施設や設備の小破修繕は、職員で対応いたします。また、備品についても自分たちで製作できるものは、材料のみ購入し、職員が手作りします。
- ・内部資料の印刷の際には、裏紙を利用し、資源の再利用に努めます。
- ・利用していない部屋の空調や電気はその都度消すようにし、節電に努めます。また、料金シミュレーションを実施の上、新電力への切り替えやプランの変更も検討してまいります。



自己点検・評価により、効率的運営を達成する

自己評価・外部評価による効率的運営

管理運営業務における自己評価は、施設の基本的使命の実現という目標がいかにより達成されたかの尺度だと理解しています。管理運営を行う上で、自らの業務を振り返ることは大切です。進んでいる方向は間違っていないかを今一度見つめ直す機会をつくり、運営に活かしてまいります。

管理運営業務における自己評価の具体的方法

①横浜市行政評価に即した評価

横浜市の指定管理者評価システムに基づいた行政評価のシステムにより、効率的な管理運営の目標設定が行なえます。

②利用者モニタリングを主とした外部評価

利用者アンケート調査等で寄せられる要望・苦情など、幅広く評価の収集に努め、適切な分析により業務の運営に反映させ、目標達成度の向上を図ります。

③自己評価の基準は成果指標

- ・施設の目標を達成し、最良の利用者満足度を得ること
- ・収入の増加と経費の抑制の結果、良好な収支を得ること

上記2点は指定管理業務の目標です。この目標に対する達成水準の向上が成果指標とされます。私たちは、この成果指標を毎年向上させます。

自己評価の基本的な考え方

- ・「行われるべきこと」(施設の使命を踏まえた事業計画)
- ・「その達成の確認」(行われるべきことが確実に実行されたかの点検)

自己評価項目の分類

- ・設置目的をどの程度達成したか
- ・利用者に対するサービスの質はどうか
- ・施設管理の質はどうか
- ・効率的な運営と適切な経営努力をしたか
- ・事業目標の達成度
- ・運営目標の達成度
- ・維持管理目標の達成度
- ・収支目標の達成度
- ・情報公開・説明責任の達成度
- ・危機管理対策の達成度
- ・PDCA サイクル運用の達成度
- ・その他の達成度

自己評価項目の分類

- ・次年度事業計画への反映

4(3) 5年間の収支及び収支バランス (横浜市久良岐能舞台)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	説明
指定管理料	25,343,000	25,343,000	25,343,000	25,343,000	25,343,000	横浜市より
利用料金収入	4,600,000	4,692,000	4,785,840	4,881,557	4,979,188	
自主事業収入	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	自主事業参加料、講座受講料等
雑入	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料収入	0	0	0	0	0	
その他(物販収入・助成金)	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	物販売上、助成金、撮影協力金等
収入合計	36,193,000	36,285,000	36,378,840	36,474,557	36,572,188	

支出の部

科目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	説明
人件費	17,970,000	17,970,000	17,970,000	17,970,000	17,970,000	
給与・賞金	16,100,000	16,100,000	16,100,000	16,100,000	16,100,000	
社会保険料	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	
通勤手当	540,000	540,000	540,000	540,000	540,000	
健康診断費	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	該当なし
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	該当なし
事務費	4,385,000	4,385,000	4,385,000	4,385,000	4,385,000	
旅費	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000	
消耗品費	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000	コピー用紙・事務用品・コピー機消耗品・等
会議納い費	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	
印刷製本費	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	チラシ・チケット・パンフレット・封筒等印刷費
通信費	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	NIT・日本郵便・宅配便
使用料及び賃借料	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
横浜市への支払分	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	行政財産目的外使用料
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	
図書購入費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	参考図書
施設賠償責任保険	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	賠償責任保険、ボランティア保険
職員等研修費	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	
振込手数料	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	
リース料	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	コピー機・AED等
手数料	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	
地域協力費	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000	自治会費、地域行事参加費等
事業費	6,700,000	6,700,000	6,700,000	6,700,000	6,700,000	
自主事業費	6,700,000	6,700,000	6,700,000	6,700,000	6,700,000	
管理費	3,160,000	3,190,000	3,220,600	3,251,812	3,283,648	
光熱水費	1,550,000	1,580,000	1,610,600	1,641,812	1,673,648	
電気料金	1,500,000	1,530,000	1,560,600	1,591,812	1,623,648	
ガス料金	0	0	0	0	0	
水道料金	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	
清掃費	230,000	230,000	230,000	230,000	230,000	庭園清掃用具購入費、専門清掃委託費
修繕費	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	
機械整備費	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000	警備会社委託費
設備保全費	330,000	330,000	330,000	330,000	330,000	
空調衛生設備保守	0	0	0	0	0	
消防設備保守	0	0	0	0	0	
電気設備保守	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	設備保守会社委託費(空調保守含む)
害虫駆除清掃保守	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	0	0	0	0	0	
共益費	0	0	0	0	0	
公租公課	2,300,000	2,300,000	2,300,000	2,300,000	2,300,000	
事業所税	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	
消費税	1,900,000	1,900,000	1,900,000	1,900,000	1,900,000	消費税相当額
印紙税	0	0	0	0	0	
その他()	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	ごみゼロ回収
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	1,678,000	1,678,000	1,678,000	1,678,000	1,678,000	
本部分	1,678,000	1,678,000	1,678,000	1,678,000	1,678,000	一般管理費配賦額
当該施設分	0	0	0	0	0	
支出合計	36,193,000	36,223,000	36,253,600	36,284,812	36,316,648	
差引	0	62,000	125,240	189,745	255,540	

自主事業費収入						
自主事業費支出						
自主事業収支						
管理許可・目的外使用許可収入						
管理許可・目的外使用許可支出						
管理許可・目的外使用許可収支						

16 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用

施設全体を活かした運営

久良岐能舞台は荘厳な門構えから、その先の美しい庭園、どこからか聞こえてくる鳥のさえずり、水の流れる音、そしてその自然環境の中に建つ能舞台、その施設全体が魅力ある施設となります。舞台だけではなく、庭園も含めた施設全体を活用して運営を行ってまいります。

久良岐の庭で音さがし

庭園に木箱を設置し、スピーカーから篠笛などの音楽を流します。これは、杉田劇場との共催で実施した庭園での雅楽演奏からヒントを得ました。コロナ禍という事もあり、特に大きく宣伝はしていませんでしたが、雅楽演奏会当日は予想以上のお客さまにお集まりいただきました。お客様同士距離を取りながら、庭園で響く音色に耳を傾け、大変ご満足いただきお帰りになりました。

庭園にスピーカーを設置し、各所に憩いのベンチを設置することで、散策の方に足を止めていただき、音楽に耳を傾けてゆっくりとした時間を過ごしていただきたいと考えております。久良岐能舞台の自然の空気を感じていただき、市民の「憩いの場」となるよう、取組みを行ってまいります。



お茶の提供

久良岐公園から下ってきて、久良岐能舞台の庭園を散策されるお客さまは多くいらっしゃいますが、能舞台の中にまで足を運んでいただく方はあまり多くはありません。職員がお声がけし、舞台を見学していただくこともあります。その場限りで、すぐにお帰りになってしまいます。そこで、久良岐能舞台に留まっていただき、貸館利用へつなげるための取組みとして、抹茶とお茶菓子を提供することを検討しております。庭園のベンチでくつろいでいただくのはもちろん、お部屋の利用がない場合には、和室や茶室を開放いたします。磯子区の生活衛生課や保健所、貴市と協議の上、検討してまいります。



古典芸能に関する動画の配信

新型コロナウイルスの影響で休館している間は、事業や貸館が中止となり、文化芸術を発信する機会がなくなりました。しかし、新型コロナウイルスの影響はいつまで続くかは分からず、このまま待っているだけでは、人々から文化芸術は遠ざかってしまうのではないかと不安を抱える日々でした。そこで、お客さまが足を運ばなくても文化芸術に触れることができるよう、久良岐能舞台のYouTubeチャンネルを開設し、動画の配信を始めました。能楽講座で講師をお願いしている先生方にご協力いただき、能楽や日本舞踊の動画を作成しております。



動画は伝統芸能に触れたことのない方にも、わかりやすく、面白く興味を持っていただけるように演目の時間を短くし、様々な視点で撮影、セリフ（謡）も、ただ字幕を付けるだけでなく、劇画風の吹き出しに入れて過去に類を見ない新しい手法で日本語・英語の二作品「羽衣」「清経」を制作しました。これらの動画は能楽等古典芸能の教材としても活用していただきたいと考えております。

16 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用

● 遠隔視聴の対応 (ライブ配信を弊社内製化で対応可能)

コロナウイルスの影響により社会構造が変化しており、文化活動も Face to Face が困難な状況となっております。「新しい生活様式」は、アフターコロナの生活にも変革を与えるとされており、人と接する機会を奪われ、また将来にわたり、これまで当たり前であった生活様式は成り立たない可能性もございます。その上、少子高齢化が進む現代社会において、施設に来館することも叶わないお客さまへの文化活動支援も視野に入れる必要がございます。私たちは文化の灯を消さないため、施設運営において、遠隔でも文化活動に触れる体制をご提案いたします。



ライブ配信を含むオンラインでの視聴により、お客さまの多種多様な催事の配信支援をいたします。アーカイブ配信向けの映像収録・編集なども可能です。配信や収録編集業務は有償とはなりますが、弊社内で内製可能であり、打合せから当日まで一貫した社内支援体制が可能です。また内製化による費用軽減にも貢献いたします。配信や映像業務をコロナの影響による一過性の業務にせず、中長期の視点で体制を構築いたします。

● 装束体験

久良岐能舞台には、庭園や能舞台で撮影を楽しまれる方が多くいらっしゃいます。そこで、平日午前区分の利用率が低い時間帯にお客さまを誘致するための取組みとして、能舞台で装束を身につけ、撮影ができるようにいたしました。久良岐能舞台所蔵の能装束を貸し出すことはできませんので、京都の職人に依頼し、一般の方が簡単に着られる簡易装束を製作しました。

装束は二種類の上着をご用意しました。一つは、袖が広い「長絹」と呼ばれるものです。優雅な装束で、主に、舞を舞う女性の役が主に使用します。もう一つは「狩衣」と呼ばれるもので、主に高貴な男性の役が使用する豪華な装束です。また、履き物として袴も二つ作りしました。この装束体験では「大口袴」を着ることが出来ます。裾口がとても広く、しっかりとした生地で作られています。着る方の身長に合わせて調節できる赤いタイプと紺色の二つから選ぶことができます。能面についても、横浜在住の能面師である岩崎久人氏にご協力いただき、装束と併せて撮影できるようにご用意しました。



能楽師になった気分装束を着て舞台上に立ち、記念撮影をしていただくことで、能楽をより身近なものと感じていただきたいと考えております。能舞台でこのような体験は滅多にできるものではありません。久良岐能舞台の魅力あるコンテンツの一つとして、発信してまいります。

- 完全予約制：電話・メール・FAX で予約受付
- 体験日：毎週火曜日の 9:30、11:00
(舞台が空いていれば別日も可)
- 所要時間：約 60 分 (着付は職員がお手伝い)
- 料金：1 回 4,400 円



17 市の重要政策課題への対応

「横浜市中期4か年計画」に呼応します



横浜市中期4か年計画では、「文化芸術創造都市による魅力・賑わい創出」を6つの戦略のうちの一つとして挙げられ、文化芸術の持つ力を活かして横浜の新たな魅力・賑わいを創出することを目標としております。また、文化芸術は人の心を豊かにし、創造性や感受性を育み、人々に活力を与えるものです。新型コロナウイルスの影響で、外出自粛の呼びかけがあり、人と接する機会が減少している状況で、人々の心は弱ってきております。そんな社会状況だからこそ、「文化芸術」は大きな力となり、人々の心・生活を支えるものと信じております。私たちは、能楽等の伝統芸能の普及と振興を通じて、市民生活の向上、地域コミュニティの文化的活性化、賑わいづくりに寄与できるように、地域の文化芸術活動の拠点機能の役割を果たします。

「横浜市文化芸術創造都市政策の基本的な考え方」の方針に沿った運営

「横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方」で掲げられている4つの基本方針をもとに、文化芸術創造都市施策を推進してまいります。

①市民の文化芸術活動を支援し、心豊かな市民生活の実現を目指す

- ・伝統芸能を中心とした様々な文化芸術活動を行う市民を広く受け入れ、文化芸術活動の拠点施設として、市民の文化芸術活動を支援いたします。
- ・利用団体と活動場所を探している方の懸け橋となり、利用者団体の存続・活動を支援します。
- ・施設を安心、安全にご利用いただくための環境づくりを推進してまいります。



②子どもたちをはじめとする次世代育成を進める

- ・能楽等の伝統芸能の普及振興のため、「能楽講座」「日本舞踊基礎講座」「4歳からの能楽」を継続して実施し、次世代の伝統芸能愛好者を育成します。
- ・能楽等の伝統文化の継承・次世代育成のため、子ども達を対象とした教育支援事業を継続して実施します。



③アーティスト・クリエイターを支援し、創造性を生かしたまちづくりを進める

- ・発表の場を探している方々に久良岐能舞台の自主事業や共催事業にて、発表・活躍の場を提供いたします。
- ・大容量無線LANの設置により、需要が高まっているオンライン配信にも対応してまいります。また、お客さまからご要望があれば、弊社で映像配信等のサポートを行います。



④賑わいづくり・観光MICE振興にもつながら、横浜らしい先進的な文化芸術を国内外に発信

- ・伝統芸能や、その他の芸能とコラボレーションした事業等、魅力ある事業を行なうことで、人々の関心を集め、賑わいづくりを推進いたします。
- ・久良岐まつり等の地域団体との連携事業により、地域の活性化に貢献します。
- ・「簡易装束体験」について、旅行会社や出版社にもアプローチを行い、観光客を誘致します。また、外国人にもアピールするために、英語表記についても整備してまいります。
- ・YouTubeやSNS、ブログを通じて、幅広く施設や事業等の活動の発信を行います。



17 市の重要政策課題への対応

● 伝統芸能をはじめとした、文化芸術普及のために・・・

一人一人の市民が文化芸術を鑑賞し、心を動かされて、自らも活動を行なうことで、文化芸術は発展していきます。久良岐能舞台では、魅力ある事業を発信するとともに、市民の文化芸術活動の場として、活動しやすい環境づくりに努めてまいります。また、これまで10年以上にわたり、久良岐能舞台の運営を行ってまいりましたが、年々、伝統芸能の愛好者は減少傾向にあり、存続が危ぶまれる団体もあるのが現状です。伝統芸能の愛好者は高齢の方が多く、20～50代の活発に活動される年齢の方は少ない傾向にあります。何故そのような状況になってしまっているのかというと、“これまでの生活の中で、伝統芸能に触れる機会がないから、どういったものか分からない”ということが理由の一つとして挙げられるかと思えます。そこで、伝統芸能の普及のためには、小さい頃から伝統芸能に慣れ親しむことが重要なのではないかと考え、狂言鑑賞教室や4歳からの能楽等、次世代育成のための取組みに力を入れてまいりました。効果が出てくるのは先のことにはなりますが、着実に伝統芸能を普及させるためには一番の近道であると信じて、活動を続けております。実際、狂言鑑賞教室で狂言に触れた子供が、夏休みに親御さんと一緒に能楽堂に足を運び、狂言を鑑賞したというお話も伺いました。



こういった活動を続けて、積み重ねていくことが、伝統芸能をはじめとした文化芸術の普及には欠かせないものと考えております。今後も、上記に記載しているような様々な取組みを行い、文化芸術創造都市施策を推進してまいります。

● 各種研修等により、市の重要施策を推進します

①個人情報保護・情報公開について

個人情報保護の取組み例としては、パソコンに一定時間触れないとスクリーンセーバーに自動的に切り替わるよう設定しており、個人情報等の情報を含むデータを送付する際には、必ずパスワード付きで送るよう習慣づけております。P8にも記載の通り、個人情報はプライバシーマークの基準に則って適切に管理してまいります。また、情報公開については、第三者から申請があった場合、貴市と協議の上、適切に対応いたします。

②人権尊重・障害者差別解消・男女共同参画について

弊社では、人権についての研修を年に1回実施しております。さまざまなお客さまが来館される公共施設の管理者として、すべてのお客さまに平等に対応してまいります。久良岐能舞台はバリアフリーではありませんが、障害を持つ方も平等に楽しんでいただけるよう、工夫をしております。過去にも車椅子の方が鑑賞事業に参加できるよう、畳に毛氈を敷き、職員が段差の上り下りをサポートしたり、別の部屋を用意し、おむつ替えスペースを確保したりもしました。また、外国人も楽しんでいただけるよう、装束展の説明パネルや能公演でのハンドブックは英語表記も取り入れ、施設のホームページも英語表記でもご覧いただけるようにしております。すべての方が平等に楽しんでいただけるよう、努めてまいります。

職員については、男女問わず雇用しており、性別による待遇差は一切ございません。

③環境への配慮

私たちは、横浜市のごみゼロルートに参加している他、ごみの分別を徹底したり、コピー用紙は内部資料であれば裏紙を活用する等、環境に配慮した取組みを行っております。また、電力については、クリーンエネルギーへの切り替えも検討しております。

④市内中小企業優先発注

修繕や定期点検等、何か業者に発注する際には、P27にも記載しております通り、横浜市内の業者を最優先に選定し、委託します。また、発注ではありませんが、久良岐能舞台の職員は全員横浜市内在住です。横浜市内の人財を積極的に活用してまいります。